

# 熊本県立美術館年報 ■平成28年度

熊  
本  
県  
立  
美  
術  
館  
年  
報

平  
成  
28  
年  
度

発 行 者：熊本県  
所 属：熊本県立美術館  
発行年度：平成29年度

---

平成 28 年度 熊本県立美術館年報

発行日 平成 30 年 2 月 13 日

発行者 熊本県立美術館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸 2 番  
TEL (096) 352-2111 FAX (096) 326-1512

印刷所 株式会社 協和印刷

---

# はじめに

熊本県立美術館の運営につきましては、日頃からご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成28年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご覧いただければ幸いに存じます。昭和51年（1976年）3月4日に熊本県の芸術文化振興の拠点として開館した当館は、平成28年（2016年）3月に開館40周年を迎え、平成27年度から平成29年度までを周年事業期間と位置づけて40周年記念事業を展開しています。

開館40周年の節目から1か月が過ぎた平成28年4月、一連の熊本地震が発生しました。当館も美術品等に少なからず被害が出ましたが、幸い美術館の建屋は堅牢でしたので、地震から1ヶ月半後に美術館コレクション展で再開し、3ヶ月後には海外からの特別展である「ランス美術館展」を開催するなど、開館40周年事業を引き続き展開しました。その一方で被災美術品の修復や施設・設備の改修・修繕、さらには地震で被災した熊本県内の文化財や美術品のレスキュー事業にも取り組んでいます。

特別展では、開館40周年事業として、「大熊本県立美術館展—東西の名品」、「ランス美術館展—華麗なるフランス絵画」、「雪舟流と狩野派—細川家を魅了した日本絵画の至宝」の3つの特別展を開催しました。「大熊本県立美術館展—東西の名品」は、当館が40年以上にわたって形成に努めてきたコレクションを軸に、熊本ゆかりの古美術や近・現代美術から西洋美術、細川コレクションまで、分野を超えて名品を一挙公開しました。本展は開会直後に熊本地震が発生したため6日間のみ開催となりましたが、古今東西の美術と文化を網羅する“総合美術館”としてのスタンスを明示するものとなりました。「ランス美術館展—華麗なるフランス絵画」はフランスのランス美術館の珠玉のコレクションを紹介したもので、古典派からロマン派、バルビゾン派、印象派やポスト印象派、そして熊本ゆかりの画家でフランスに帰化したレオナルド・フジタ（藤田嗣治）まで、フランス絵画の壮麗なる400年の歴史を辿りました。「雪舟流と狩野派—細川家を魅了した日本絵画の至宝」では、細川家が築き上げた御用絵師による優れた絵画文化を紹介し、さらにその源流となった雪舟流と狩野派という二つの画派の展開を、室町・桃山時代まで遡って概観しました。3つの展覧会ともに、開館40周年事業にふさわしい充実した企画内容となりました。

当館の基幹をなすコレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の両分野ともにテーマを設定した「特集展示」を展開しました。細川コレクションでは、第Ⅰ期「大名と遊び」、第Ⅱ期「細川家の殿さまの書—墨字が織りなす世界—」、第Ⅲ期「細川家の大名道具と雛飾り」を特集しました。また美術館コレクションでは、第Ⅰ期で熊本市の史跡池辺寺跡の発掘30年を記念する「池辺寺の歴史と名宝」の特集や、当館の誇るフランス美術コレクションを展示しました。さらに平成27年度から復活させた親子で楽しむ夏休み企画では、「親子でみる美術展 二の丸トラベル」と題して「旅」をテーマに、旅先で描いた絵画、旅行で用いられた道具や持ち運ばれた工芸品など、江戸時代の参勤交代から現代作家のヨーロッパ遊学まで、旅にまつわる古今東西の名品を紹介しました。

美術品の収集活動においては、熊本ゆかりの日本画家・高橋広湖が豊臣秀吉の姿を描いた《裂封冊（豊公）》、戦後美術に大きな足跡を残した森芳雄の重要作《家族》を購入したのをはじめ、三宅家文書、堅山南風、野田哲也、マナブ間部、パブロ・ピカソなど計15件の作品をご寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図ることができました。教育普及活動では、17校に及ぶ大規模な展開に取り組んだスクールミュージアムをはじめ、特別展に関する記念講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館、実技講座などを実施しご好評をいただいております。調査研究活動としては、平成20年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成28年度は大名調度類の調査を進めています。また平成27年度から実施している本館改修工事では、空調基幹設備や受変電設備の更新を行い、施設の保全と長寿化に取り組みました。

開館40周年を契機として、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」としてのヴィジョンの実現に向けて、「超える」をコンセプトに時代や分野、洋の東西などの枠組みを超え、社会や各世代と広く繋がりながら多彩な魅力に満ちた美術館をめざしてまいります。また熊本地震を教訓にしつつ、この未曾有の災禍を通じて浮き彫りになった課題を広く共有しながら震災の記憶を語りつぐことも、私たちの重大な責務であることを肝に銘じて美術館運営に取り組んでいく所存です。皆様方のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成30年2月吉日

熊本県立美術館長 田崎 龍一

## 目 次

<b>I 沿 革</b> .....	1
<b>II 施設・設備</b>	
■施設・設備の概要.....	5
<b>III 事業の概要</b>	
■平成 28 年度年間スケジュール .....	9
■熊本地震による被害状況と美術館の取り組み.....	11
■展覧会記録.....	13
■浜田知明室.....	26
■装飾古墳室.....	28
■教育普及.....	29
<b>IV 資 料</b>	
■観覧者状況及び事業報告.....	34
■収蔵品の概要.....	41
■購入・寄贈図書目録.....	47
■委員会等名簿.....	48
■その他.....	50

# I 沿革

昭和43年 3月25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
♪ 43年 5月10日	「熊本県文化資料調査実施要領」制定
♪ 44年 3月 3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄附
♪ 44年 7月 1日	「熊本県立美術館基金条例」公布 1億円の積立
♪	県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
♪ 44年 8月 6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
♪ 45年 5月10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
♪ 45年 6月 2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
♪ 45年12月 8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
♪ 46年 3月20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
♪	「熊本県立美術館建設準備室」設置
♪ 46年 5月17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
♪ 46年 9月20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
♪ 46年 9月30日	「装飾古墳調査報告書」作成
♪ 47年 4月 1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
♪ 47年 8月31日	熊本城二の丸史跡調査完了
♪ 47年10月31日	美術館基本設計完了
♪ 48年 3月31日	美術館実施設計完了
♪	美術館建設敷地の樹木調査完了
♪ 48年 9月17日	装飾古墳レプリカ制作委託
♪ 48年12月 8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
♪ 49年 5月17日	美術館建設着工
♪ 50年 5月24日	美術館定礎
♪ 50年 7月 1日	「熊本県立美術館条例」公布
♪ 50年 9月14日	美術館本体工事完了
♪ 51年 1月31日	美術館外構工事完了
♪ 51年 2月24日	美術館工事落成
♪ 51年 3月 4日	美術館開館
♪ 52年 1月24日	美術館別館（多目的室棟）着工
♪ 52年 9月10日	別館（多目的室棟）竣工
♪ 54年 6月28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
♪ 60年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
♪ 61年 3月25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
♪ 61年 6月 4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成元年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正

平成 2年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
♪ 3年10月 1日	美術館分館着工
♪ 4年 5月	野田壁画室工事完了
♪ 4年10月 1日	美術館条例（使用料）の改正
♪ 4年10月 9日	美術館分館工事完了
♪ 4年10月20日	美術館分館開館
♪ 4年12月19日	収蔵庫増設工事着工
♪ 4年12月27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
♪ 5年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
♪ 5年10月15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
♪ 6年 1月 3日	収蔵庫増設工事完了
♪ 8年 3月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
♪ 8年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
♪ 8年11月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
♪ 9年 8月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
♪ 10年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
♪ 11年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
♪ 11年 6月28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
♪ 11年 8月18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
♪ 11年10月23日	行幸啓
♪ 12年 6月21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
♪ 13年 3月	開館 25 周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
♪ 13年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
♪ 14年 1月16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
♪ 14年 1月31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと 21 ～開館 25 年 100 の提案～」
♪ 14年 2月	美術館本館屋上防水工事着工
♪ 14年 3月	美術館本館屋上防水工事完了
♪ 16年 2月 2日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
♪ 16年 3月17日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
♪ 17年12月 8日	非常用自家発電機更新工事着工
♪ 18年 3月17日	非常用自家発電機更新工事完了
♪ 18年 8月	開館 30 周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
♪ 18年10月	開館 30 周年記念「熊本県立美術館名品展－精華－」開催
♪ 18年11月 1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
♪ 18年11月10日	美術館本館 第 6 回 JIA（日本建築家協会）25 年賞大賞受賞
♪ 19年 1月 5日	美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事着工

平成19年 1月 8日	美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事完了
♪ 19年 1月30日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事着工
♪ 19年 3月30日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事完了
♪ 19年 6月25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
♪ 19年10月 3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.5 施行）
♪ 19年11月26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
♪ 19年12月18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
♪ 20年 2月29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
♪ 20年 3月14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
♪ 20年 3月17日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
♪ 20年 4月25日	細川コレクション永青文庫展示室開館
♪	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第1部、第2部：4.25～12.24）
♪ 21年 9月17日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
♪ 21年10月 9日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22.4.1 施行）
♪ 21年10月24日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
♪ 21年12月24日	美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
♪ 21年12月30日	美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
♪ 22年 4月 1日	美術館分館 指定管理者制度導入
♪ 22年 4月28日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
♪ 22年12月22日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23.4.1 施行）
♪ 23年 8月18日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
♪ 24年 2月28日	美術館トイレ改修工事着工
♪ 24年 3月 6日	美術館条例（協議会）の改正（H24.4.1 施行）
♪ 24年 3月28日	美術館トイレ改修工事完了
♪ 24年 3月30日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事完了
♪ 24年10月31日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
♪ 25年 1月15日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
♪ 25年 3月15日	美術館条例施行規則（使用料の返還）の改正（H25.4.1 施行）
♪ 25年12月27日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
♪ 26年 3月14日	美術館本館事務室屋上改修工事完了
♪ 26年 3月24日	美術館条例（観覧料、使用料）改正（H26.4.1 施行）
♪ 26年 5月21日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工
♪ 26年 7月 9日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了
♪ 27年 1月13日	美術館本館エレベータ改修工事着工
♪ 27年 3月 9日	美術館本館エレベータ改修工事完了
♪ 27年10月29日	美術館本館大規模改修工事（I期）着工
♪ 28年 3月18日	美術館本館大規模改修工事（I期）完了
♪ 28年 4月 8日	開館 40 周年記念「大熊本県立美術館展」開催

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 平成28年 4月14日 | 平成 28 年熊本地震（前震）発生              |
| ♪ 28年 4月15日 | 美術品等の保護と施設設備の安全確認のため、当面臨時休館とする |
| ♪ 28年 4月16日 | 平成 28 年熊本地震（本震）発生              |
| ♪ 28年 5月28日 | 安全確認の目処がつき、再開館へ                |
| ♪ 28年 7月16日 | 開館 40 周年記念「ランス美術館展」開催          |
| ♪ 28年 8月30日 | 開館 40 周年記念「雪舟流と狩野派展」開催         |
| ♪ 28年10月11日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）着工             |
| ♪ 28年10月31日 | 熊本地震により被災した美術品等の修復作業開始         |
| ♪ 29年 3月13日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）完了             |

## II 施設・設備

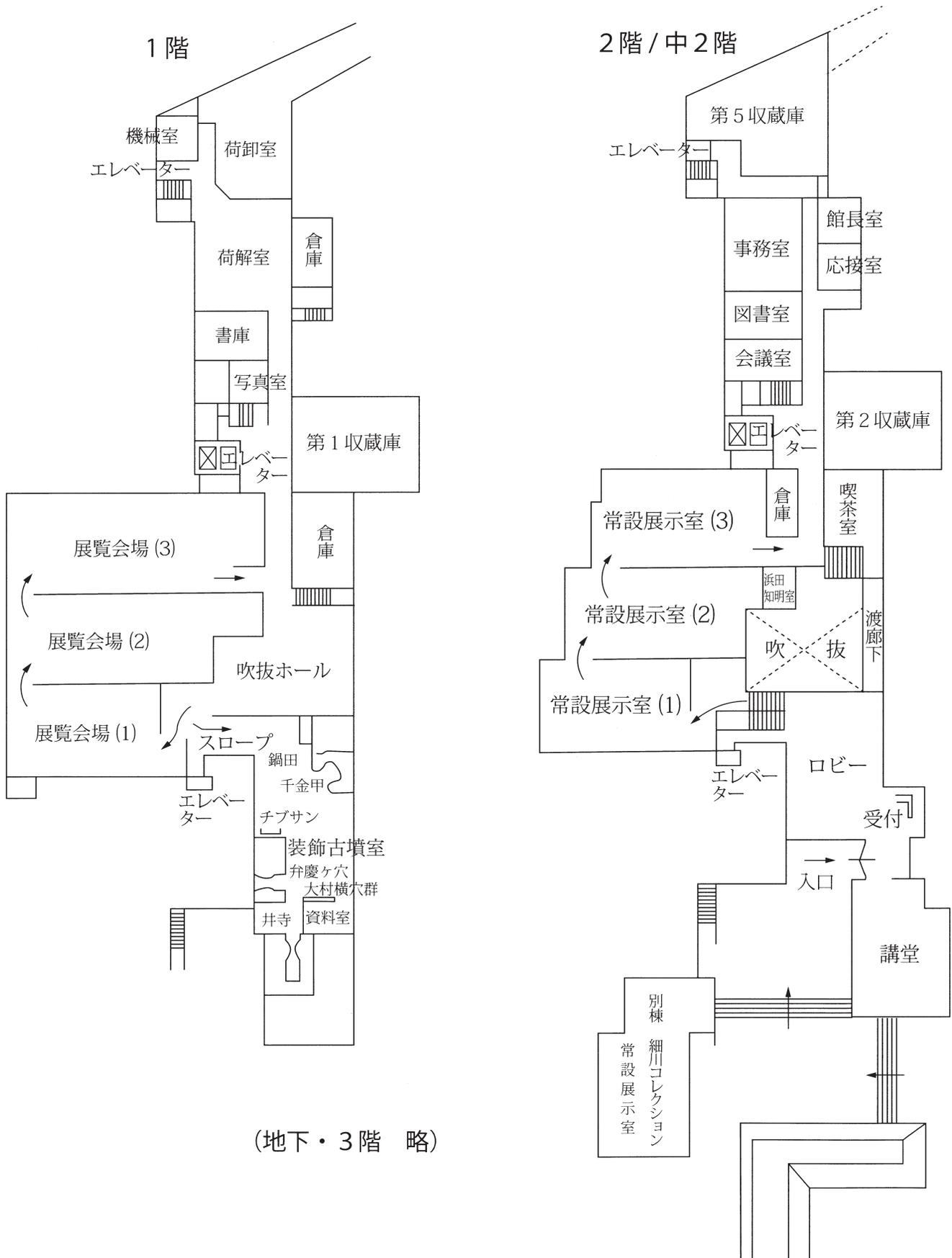
### ■施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラベニア・大和設計共同体
施工業者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,793.65㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構造	造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下1階、地上3階	地下1階、地上4階、塔屋1階
仕上	外壁	珧炉器質打込タイル	石張り(会津石)
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設備	電気設備	減設協議電力277KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	空気熱源熱回収型スクリーヒートポンプ 空気熱源水蓄熱スクリーヒートポンプ 空調15系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、受水槽8㎡	上下水道使用、受水槽35㎡
	昇降設備	エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基	エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

部門別面積

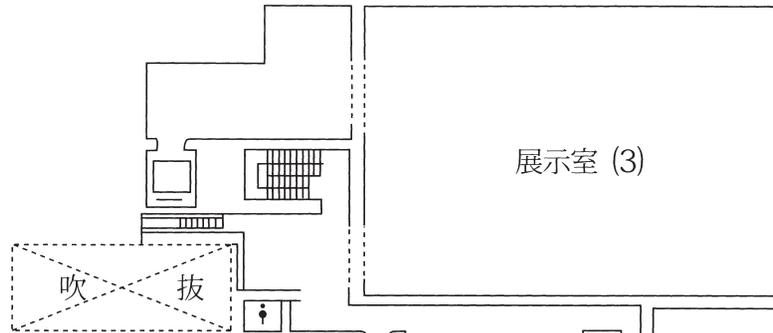
本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積 (㎡)	部 門	室 名	室数	面積 (㎡)
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギ ャ ラ リ ー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	講 堂	1	176.56	利 用 施 設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	ロ ビ ー	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 茶 室 室 喫 休 憩 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救 護 室 / 授 乳 室	1	9.24
別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室	展 示 室	1	160.20	利 用 施 設	売 店	1	20.00
	そ の 他	1	186.60		小 計		407.95
	小 計		346.80		事 務 管 理	事 務 室 ・ 他	
事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		2434.51	機 械 室		4	338.80
	機 械 室	2	752.87	倉 庫 そ の 他			2862.79
	小 計		3187.38	小 計			3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

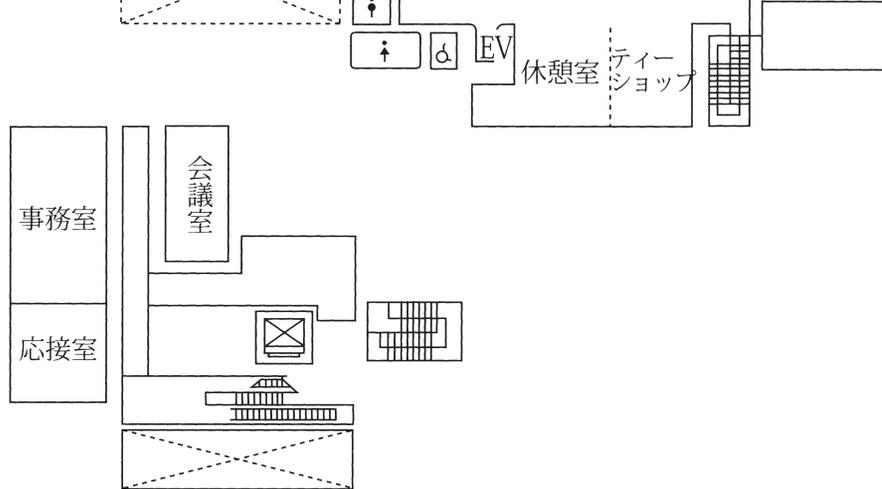


美術館分館見取図

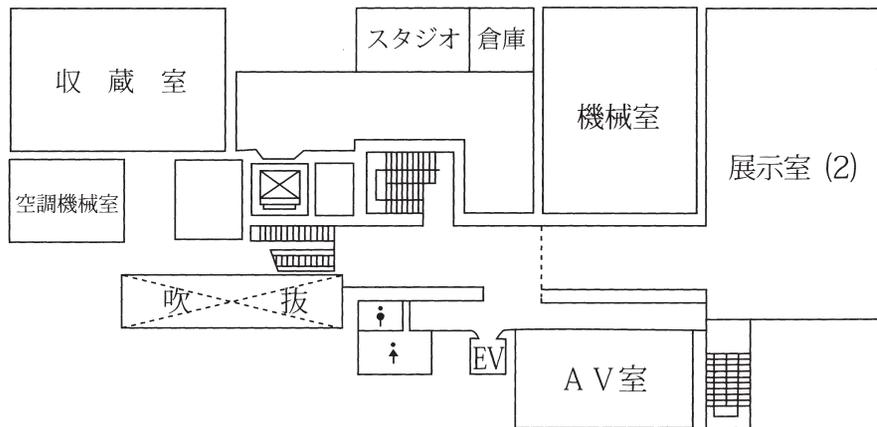
4階



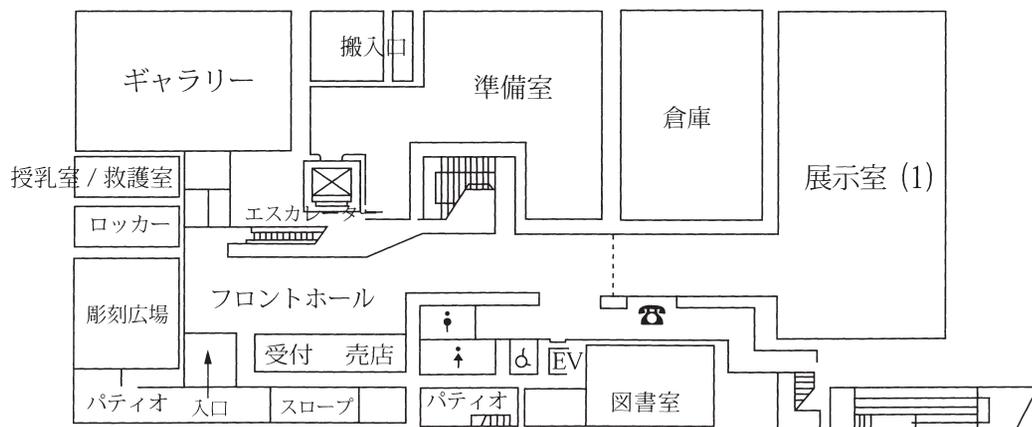
3階



2階



1階



# Ⅲ 事業の概要

## 平成28(2016)年度熊本県立美術館年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																						
本館二階	開館40周年記念 大熊本県立美術館展		美術館コレクション 特集 発掘30周年記念 池辺寺の歴史と名宝 5/28~7/3	親子でみる美術展 二の丸トラベル -旅の歴史、旅の美術、そして美術の旅へ- 7/16~8/21	開館40周年記念展 雪舟流と狩野派 -細川家を魅了した日本絵画の至宝- 8/30~10/10		第二次改修工事による臨時休館及び年末年始休館 10/11~2/10			第二次改修工事による休室 ~3/31																																								
本館一階	熊本地震により 全館臨時休館		学童書道展 第35回 熊日新鋭・	開館40周年記念展 ランス美術館展 -華麗なるフランス絵画- 7/16~9/4		第27回 回選抜茶掛展	第43回 回学生学童書道展	第38回 回熊本県書道展	第19回 玄泉全国書道展 いのちかがやく子ども美術展 in Kumamoto			第57回 熊日書道展	崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展																																					
別棟展示室			細川コレクション 特集 大名と遊び 5/28~7/3	細川コレクション 特集 細川家の殿さまの書 -墨字が織りなす世界- 7/23~10/10					細川コレクション 常設 細川家の大名道具と雜飾り 2/11~3/26																																									
分館四階	地震により使用不可																																																	
分館二階	地震により使用不可																																																	
分館一階	地震により使用不可																																																	
ギャラリー	地震により使用不可																																																	
会期	4/5~14	15~17	19~24	26~5/1	3~8	10~15	17~22	24~29	31~6/5	7~12	14~19	21~26	28~7/3	5~10	12~18	20~24	26~31	2~7	9~14	16~21	23~28	30~9/4	6~11	13~19	21~25	27~10/2	4~10	12~16	18~23	25~30	11/1~6	8~13	15~20	22~27	29~12/11	13~18	20~25	26~1/4	5~9	11~15	17~22	24~29	31~2/5	7~12	14~19	21~26	28~3/5	7~12	14~20	22~26

# ■熊本地震による被災状況と美術館の取り組み

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分発生の前震及び 4 月 16 日 1 時 25 分発生の本震により、展示室や収蔵庫、収蔵美術品等が被災した。地震発生時の被災状況と対応、また当館における地震後の取り組みは下記のとおりである。

## 1 主な被災状況

### ① 展示室内

- ・前震及び本震により、展示中の仏像が傾斜し破損したほか、近代の人形、現代陶芸作品が転倒し破損。また、前震により展示台から下ろしケース内に安置していた甲冑 1 領が転倒し破損した。

- ・無料スペースに設置していたブロンズ彫刻が台座ごと転倒し破損。

- ・本震により、別棟で使用していた移動展示ケース 1 基が転倒大破したが、作品は前震後に避難していたため無事であった。

### ② 収蔵庫

- ・屏風棚側面のポールが損壊し、棚から屏風が飛び出して損傷。

- ・棚上から調度品の箱が落下し、一部作品が破損。棚ごと移動していた収蔵庫もあった。

- ・絵画ラックが床面レールから脱線し、油彩画が落下損傷。

### ③ その他

- ・ガス供給停止でボイラー運転ができず、空調の加湿に支障。

- ・事務室で二段積みしていたキャビネットが倒れ、書類が散乱。



## 2 被災時の対応

### ① 前震発生時

- ・駆けつけた職員で、落下・転倒の危険のある展示作品を避難。

- ・翌日、被災した作品を総点検。損傷の危険性が高い作品を避難。

### ② 本震発生時

- ・洋画を壁面から下ろし床に平置き、移動ケース内の作品は壁面ケースなどの安全な場所に避難するなど、展示室の作品避難を徹底。

- ・翌日から損傷作品の確認と記録、展示室や収蔵庫の復旧と余震対策を実施。

- ・開催中の「大熊本県立美術館展」を中止。当面、臨時休館に。

### ③ 休館後の動き

- ・建物や展示室に大きなダメージはなく、5月28日に展覧会を再開。

- ・被災した美術品や屏風棚などの修復準備を進める。

- ・バックヤードは通常業務と並行して復旧を行う。



### 3 地震後の取り組み

- ① 被災美術品の修復
  - ・当館の所蔵品及び寄託・預かり品を含め、128点の作品が被災。
  - ・被災美術品のうち、修復が必要と認められる作品については、本年度より修復を実施し、平成31年度までにすべての修復を完了する見込み。
- ② 展示室、収蔵庫の地震対策
  - ・額装作品の展示は、Sカンの二重設置、インシュロックによる固定および特別展ではファームブックによる壁面固定展示で落下防止。掛幅装作品の展示は、インシュロックタイを使用し、落下防止。
  - ・各収蔵庫の棚に落下防止のサラシを設置。
  - ・展示室の地震対策として、小型免震台及び展示ケース用免震台を導入予定。
- ③ 被災文化財のレスキュー
  - ・熊本県内で被災した文化財の一部を美術館に緊急避難
  - ・館内の対応が一段落後、可能な範囲で館外のレスキュー活動を実施。主な活動状況は下記のとおり。
- ④ その他
  - ・破損した絵画ラックの応急修理を実施。
  - ・破損した屏風棚は本年度中に修理を実施する見込み。

#### 被災文化財レスキュー事業一覧

月日	場所	被災状況	対応
4/17	大慈寺（熊本市）	重文梵鐘落下、仏像大破等	被害状況検分
4/18	報恩寺（熊本市）	建物倒壊の恐れ	重文の十一面観音像を美術館に緊急避難
4/26	熊本市内個人宅	建物倒壊の恐れ	屏風、掛軸を救出し、美術館に緊急避難
4/28	熊本大学附属小学校	天井・壁剥落	藤田嗣治作品を美術館に緊急避難
5/7	熊本市内個人宅	建物倒壊の恐れ	鍮を美術館に緊急避難
5/14	益城町千光寺		千手観音像の救出打合せ
6月～ 11月	御船街なかギャラリー他	アトリエ倒壊、近現代作品 150点余下敷き	御船町の被災美術品のレスキュー作業及び 協議会（殺カビ燻蒸後、調査、脱酸素密閉 作業）
7/21、 27	御船街、益城町、南小国 町、熊本市		文化財レスキュー事業事前予備調査
8/31	阿蘇市	仏像損壊等	文化財レスキュー事業事前予備調査
12/20	植木町	仏像損壊	調書作成、対策協議

## ■ 展覧会記録

# 開館 40 周年記念 大熊本県立美術館展

— 1976 ~ 2016 東西の名品と 40 年のあゆみ —

会 期	平成 28 年 4 月 8 日（金）～ 4 月 14 日（木） ※本来の予定は、5 月 22 日（日）まで
開催日数	6 日間 ※本来の予定は、41 日間
会 場	本館 1 階、2 階展示室及び別棟展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社
後 援	熊本県文化協会、熊本県文化懇話会、 熊本県美術家連盟、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県凶画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、RKK 熊本放送、TKU テレビ熊本、 KKT 熊本県民テレビ、エフエム熊本、KAB 熊本朝日放送、 FM791
特別協力	公益財団法人永青文庫
観 覧 料	一般 650 円（460 円）、大学生 390 円（270 円） 高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方無料 （ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	1,917 名
担 当 者	山田 貴司



### 趣旨とその成果

開館 40 周年を記念する特別展として、当館の会場をすべて用い、美術館コレクション、さらには細川コレクションの中から、選りすぐりの名品を一挙に展示。長年の調査・研究・収集により培われてきた豊かなコレクションと美のエッセンスを、たっぷりとしたボリュームで紹介しつつ、当館のあゆみにもスポットをあてた。

これまで当館で開催してきたテーマに即して作品選定したうえで、全会場を使って展開された作品の総数は、およそ 220 点。熊本の美術と歴史の流れを示す古美術品、そして、洋の東西を超えてコレクションされてきた近代・現代の名品群などを展示した。また、一角には、美術館の 40 年を振り返る映像・資料コーナーも設置。40 年のあゆみをわかりやすく紹介した。開館以来の長年の蓄積を示すぶあつい内容構成は、観覧者の多くに喜んでいただけるものであった。

ただし、残念なことに、4 月 14 日と 16 日に起こった熊本地震により、展覧会は中止に。6 日間だけの開催に終わった。

### 関連行事

- 1 記念シンポジウム「熊本県立美術館のこれまでとこれからを語ろう！」

日時：4 月 29 日（金・祝）13：30～16：30

※ 10 月 1 日（土）に延期して実施

基調講演講師：後小路 雅弘 氏（九州大学大学院教授・美術史学）

パネリスト： 後小路 雅弘 氏（九州大学大学院教授・美術史学）

稲葉 継陽 氏（熊本大学永青文庫研究センター教授・歴史学）

坂本 顕子 氏 (熊本市現代美術館学芸員)  
小野 由起子 氏 (熊本日日新聞社)  
前田 信明 氏 (美術家、元九州造形短期大学特任教授)  
村上 哲 (熊本県立美術館学芸課長)

参加者：180名

2 子ども美術館「マイ名品展づくり～美術館バックヤード探検～」

日 時：5月1日(日) 10:30～12:00

会 場：当館本館講堂及び会場、バックヤード

※震災により中止

3 バックヤードツアー「屋上から機械室まで！全部みせます、熊本県立美術館」

日 時：5月1日(日) 14:00～15:00

※9月18日(日)に延期して実施

参加者：20名(定員20名)

4 ミュージアムセミナー「熊本県立美術館のあゆみとコレクション形成」

日 時：5月7日(土) 14:00～15:00

会 場：当館本館講堂

講 師：村上 哲(当館学芸課長)

※震災により中止

# 第Ⅰ期 細川コレクション 〈特集〉大名と遊び

会 期	平成 28 年 5 月 28 日（土）～7 月 3 日（日）
開催日数	32 日間
会 場	熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	共通券：一 般 420 円（300 円） 大学生 250 円（190 円） 別棟展示室：一 般 210 円（160 円） 大学生 130 円（100 円） 本館 2 階展示室：一 般 270 円（190 円） 大学生 160 円（120 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	2,416 名（本館 1,391 名、別棟 1,025 名）
担 当 者	才藤 あずさ



## 趣旨とその成果

大名家の人々は、弓術や馬術と言った武芸をはじめ、能、和歌、香道などの様々な教養を身に付ける必要があった。これらの諸芸は遊戯的側面を持ち、大名にとって嗜みであると同時に娯楽でもあった。公式の行事や儀礼の場でしばしば上演され、大名にとって必須の教養であった能。室町時代に成立し、武家文化の中で発展してきた香道。本展では、これら諸芸にまつわる道具類を展示した他、弓の腕前を競う遊戯として中世に流行した犬追物を描いた屏風や、絵画好きの殿様として知られた細川家第 10 代斉茲の描いた絵画、伝千利休所用の碁盤などを展示。細川家伝来の調度や絵画を通じて、江戸時代の大名にとっての嗜みと遊びの世界を紹介した。

別棟の常設展示「細川家の歴史と美」では、細川家の大名調度や近世絵画のほか、護立コレクションの中から近代日本画の名品を紹介した。また、地震のため中止となった「大熊本県立美術館展」で展示を予定していた菱田春草《黒き猫》を特別展示した。

## 関連行事

6 月 5 日（日）子ども美術館（小中学生向け講座&ワークショップ）

「貝でキーホルダーをつくろう」

参加者：16 名

6 月 11 日（土）ミュージアムセミナー

演 題：「大名の嗜みと遊び」

講 師：学芸課主任学芸員 才藤 あずさ

聴講者：38 名

# 第Ⅰ期 美術館コレクション 〈特集〉発掘 30 周年記念 池辺寺の歴史と名宝

会 期 平成 28 年 5 月 28 日（土）～7 月 3 日（日）  
開催日数 32 日間  
会 場 熊本県立美術館本館 2 階第 2 展示室  
主 催 熊本県立美術館  
協 力 熊本市観光文化交流局  
観 覧 料 一般 270 円（190 円） 大学生 160 円（120 円）  
高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金  
観覧者数 1,391 名  
担 当 者 有木 芳隆



《池辺寺縁起絵巻》

## 趣旨とその成果

熊本市西区池上町にのこる「国指定史跡 池辺寺跡」は、奈良時代に創建されたと伝えられる池辺寺の遺構である。本展は、その発掘調査開始 30 年を記念して「池辺寺縁起絵巻」など池辺寺ゆかりの美術工芸品、発掘調査によって発見された古文書と古代～中世池辺寺跡の貴重な出土品等を展示。全国的にも類をみない古代～中世の大規模な山岳寺院・池辺寺の歴史と謎にせまり、その魅力を紹介した。

また、常設展示（2 階第 3 展示室）として、藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）、キスリングなどのエコール・ド・パリの画家の作品群を中心に、ルノワール、ヴラマンクなど、当館所蔵の近代フランス絵画の精髓を紹介した。

## 関連行事

6 月 25 日（土）ミュージアムセミナー

演 題：「発掘 30 年！謎の古代寺院、池辺寺」

講 師：熊本市文化振興課副課長 網田龍生氏

参加者：86 名

## 第Ⅱ期 美術館コレクション

# 〈企画展〉親子でみる美術展 二の丸トラベル

—旅の歴史、旅の美術、そして美術の旅へ—

会 期	平成 28 年 7 月 16 日 (土)～8 月 21 日 (日)
開催日数	34 日間
会 場	熊本県立美術館本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館
特別協力	公益財団法人永青文庫
観 覧 料	一般 270 円 (190 円) 大学生 160 円 (120 円) 高校生以下無料 ( ) 内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	4,462 名
担 当 者	石丸 美穂子、山田 貴司、林田 龍太



### 趣旨とその成果

親子でみる美術展、第2弾となる本展は「旅」をテーマに、江戸時代の参勤交代から現代作家のヨーロッパ遊学まで、「旅」の様子を描いた絵画、「旅」で用いられた道具、持ち運ばれた工芸品、旅先でつくられたり、あるいは旅先を題材とした古今東西の名品などを、2階会場を全て使って展示した。当時の人々にとって「旅」とはどのようなものだったのか、その意味を見つめなおすことのできる展覧会となった。また、クイズに答えながら作品を鑑賞できるワークシートや、どの富士山が好みかを投票する「富士山くらべ」コーナー、旅行気分を盛り上げるスタンプコーナーなどを設け、誰もが楽しめる環境づくりを行い、好評を得た。

### 関連行事

8月20日(土) ミュージアムセミナー

演 題：肥後から江戸へ！熊本藩の参勤交代

講 師：学芸課参事 山田 貴司

参加者：54名

7月24日(日) 子ども美術館(小・中学生向け講座&ワークショップ)

内 容：「クイズに答えてスタンプラリー！展示室旅行に出発」

参加者：43名

## 第Ⅱ期 細川コレクション

### 〈特集〉 細川家の殿さまの書 —墨字が織りなす世界—

会 期	平成 28 年 7 月 23 日（土）～ 10 月 10 日（月・祝）
開催日数	72 日間
会 場	熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	一般 210 円（160 円） 大学生 130 円（100 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	6,641 名
担 当 者	宮川 聖子



#### 趣旨とその成果

もともと「通潤橋ができた!」というタイトルのもと、山都町教育委員会と八代市立博物館と連携して、熊本藩の地域行政について紹介する予定であった。しかし、熊本地震によって通潤橋が被災したため、「書」を中心とした特集に差し替えた。

書の歴史は、中国から「漢字」が伝来したことに始まり、わが国では漢字をくずして仮名文字を生み出し、独自に「文字」の世界を築きあげた。そして、中国書法に影響を受けながらも、それぞれの時代の文化や思想の上で、日本の書は発展していく。

本展では、熊本藩の藩祖である幽斎（藤孝）・忠興父子にはじまり、歴代の藩主たち、さらには明治維新後に熊本藩知事をつとめた韶邦・護久兄弟までの歴代当主の書を一堂に紹介した。

細川家の歴代当主はみずからの手で多くの書をのこしており、それらはプライベートなものから儒学の心得を説くものなどバラエティー豊かである。また、当主としての自覚のもと表現された書からは気品や風格が感じられ、お客様から好評を得ることが出来た。加えて、自筆ゆえにひとつひとつの文字には個性が溢れており、展示室では歴代当主の書を比較することができたので、書を楽しみながらじっくりご覧になるお客様が多かった。

#### 関連行事

9月17日（土）ミュージアムセミナー

演 題：「細川家の殿さま—名君・細川重賢—」

講 師：学芸課学芸員 宮川 聖子

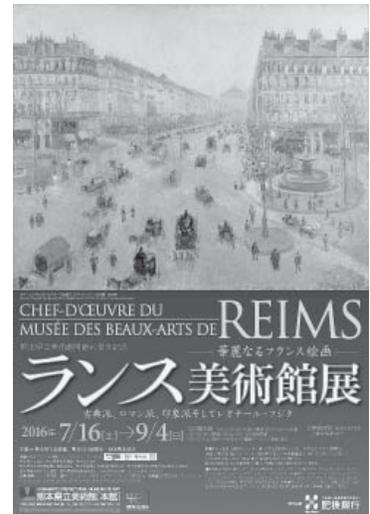
聴講者：41 名

# 熊本県立美術館開館 40 周年記念

## ランス美術館展 ～華麗なるフランス絵画～

### 古典派、ロマン派、印象派、そしてレオナルド・フジタ

会 期	平成 28 年 7 月 16 日（土）～9 月 4 日（日）
開催日数	46 日間
会 場	熊本県立美術館本館 1 階展示会場
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
後 援	在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本日仏協会 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県図画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791
特別協賛	肥後銀行
協 力	エールフランス航空、ヤマトロジスティクス株式会社
企画協力	株式会社ブレントラスト
観 覧 料	一 般 1,300 円 (1,000 円) 高・大学生 800 円 (500 円) 中学生以下無料 ( ) 内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	17,135 名
担 当 者	岡田 真梨子、村上 哲



#### 趣旨とその成果

フランス北東部のシャンパーニュ地方に位置するランス市は、歴代のフランス国王が戴冠式を行ってきた大聖堂を擁する歴史ある古都である。その中心街に今から 1 世紀前の 1913 年に開館したランス美術館は中世美術から現代美術まで幅広いコレクションを有し、とりわけフランス絵画の宝庫として世界的に知られている。熊本県立美術館の開館 40 周年を記念する企画として開催した本展覧会は、ランス美術館の所蔵する珠玉のフランス絵画を 4 つの章により一堂に紹介したもので、17・18 世紀のバロック・ロココ絵画、ドラクロワやダヴィッドらのロマン派や新古典派の 19 世紀絵画、コロー、ミレーらのバルビゾン派、ピサロ、シスレー、ゴーギャンらの印象派やポスト印象派、そして熊本ゆかりの画家でフランスに帰化したレオナルド・フジタ（藤田嗣治）など、70 点余の名品群で構成された。なおランスはフジタゆかりの土地でランスの大聖堂でカトリックの洗礼を受けるなど深い縁があり、フジタが自ら壁画を描いて永眠する「フジタ礼拝堂」（平和の聖母礼拝堂）がある。近年、壁画に関する素描群などがフジタの遺族からランス市に寄贈された。本展を機に、ランス美術館のフジタ・コレクションを一堂に公開するとともに、フジタが京都のフランス総領事館（関西日仏学館）のために描いた大作《ノルマンディーの春》をはじめ、ひろしま美術館や熊本県立美術館の所蔵するフジタの名品もあわせて特別出品した。ランス美術館の全面的支援を受けて、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本等の後援のもと、熊本県立美術館を企画統括として、東京、名古屋、広島、静岡、山口、福井など全国各都市の 7 つの美術館と連携した事業である。

震災後初の特別展であり、熊本城周辺に厳しい交通規制が敷かれていたにも関わらず多数の観覧者が鑑賞し好評を博した。夏休みになると多くの美術ファンや子どもたちが来館し、美術館が日常の安らぎを取り戻したことを実感するとともに、美術館が心の回復の場としての役割を担うことの重要性を痛感した。ランス美術館とランス市は震災後の当館の状況や余震の推移を冷静に判断し開催を決断していただいた。大地震から 3 ヶ月後に海外の美術館からの作品展が実現できたことは奇跡的であり、フランス革命期に産声をあげ度

重なる戦禍を経験したランス美術館が震災からの復興を支えてくれたことに、不思議な縁と深い友好の絆を感じるようになった。

#### 関連行事

##### ① 記念講演会

「ランス美術館への招待—フランス絵画の精華とレオナルド・ダ・ヴィンチ—」

日 時：7月16日（土）11：00～12：00

場 所：本館・講堂

講 師：カトリーヌ・ドゥロ氏（ランス美術館館長）

聴講者：124名

##### ② スライド・トーク

「華麗なるフランス絵画—ランス美術館コレクション」

20名以上のグループ・団体への鑑賞プログラム（約20分の解説）

実施期間：展覧会会期中（休館日と7月27日（水）・28日（木）・29日（金）、  
8月3日（水）・4日（木）・5日（金）を除く）

講 師：学芸員 岡田 真梨子、学芸課長 村上 哲

聴講者：11団体 = 354名

##### ③ ミュージウム・セミナー

「レオナルド・ダ・ヴィンチと華麗なるフランス絵画—ランス美術館コレクション」

日 時：8月6日（土）14：00～15：00

場 所：本館・講堂

講 師：学芸課長 村上 哲

聴講者：57名

##### ④ こども美術館

「点てんテンで巨大アートに挑戦」（小・中学生向け講座&ワークショップ）

日 時：8月21日（日）10：30～12：00

場 所：本館・講堂

参加者：54名

##### ⑤ NHK美術館コンサート（連携事業）

「バッハとクラシック音楽の午後」

日 時：9月3日（土）14：00～15：15

場 所：本館・吹抜ホール

出 演：山崎 明氏（サクソフォン）、池田奈穂氏（ピアノ）

参加者：200名

##### ⑥ 関連講座（実技ワークショップ）

「フレスコ画で知るレオナルド・ダ・ヴィンチ」

期 日：7月27日（水）・28日（木）・29日（金）、8月3日（水）・4日（木）・5日（金）

場 所：本館・講堂

講 師：有田 巧氏（崇城大学芸術学部教授）

参加者：11名

# 熊本県立美術館開館 40 周年記念

## 雪舟流と狩野派 ―細川家を魅了した日本絵画の至宝―

会 期	平成 28 年 8 月 30 日 (火)～10 月 10 日 (月・祝)
開催日数	38 日間
会 場	熊本県立美術館本館 2 階展示会場
主 催	熊本県立美術館、熊本県民テレビ、熊本日新聞社
後 援	熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県凶画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、 熊本県博物館連絡協議会、NHK 熊本放送局、 エフエム熊本、FM791
協 賛	熊本トヨペット株式会社
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	一 般 1,000 円 (800 円) 高・大学生 700 円 (500 円) 中学生以下無料 ( ) 内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	8,167 名
担 当 者	金子 岳史



### 趣旨とその成果

平成 28 年に開館 40 周年を迎えた熊本県立美術館は、古代から現代美術までを網羅する総合美術館としての多岐にわたる活動の中でも、熊本の御用絵師の調査・研究は大きな柱の一つであり、その成果を「肥後の近世絵画」(1979 年)、「細川藩御用絵師・矢野派」(1996 年)といった展覧会で紹介することで、熊本の近世絵画史研究を構築してきた。本展覧会は、開館 40 周年を記念して、これまでの当館の成果を踏まえ、細川家が築き上げた御用絵師による優れた絵画文化を紹介し、さらにその元となった雪舟流と狩野派という二つの画流を、室町・桃山時代まで遡ってその展開をたどるものであった。

また、細川家に伝わる近世絵画の名品はもちろんのこと、細川三斎ゆかりの作品である《傲高克恭山水図巻》(重要文化財)(山口県立美術館蔵)、当初は一連の障壁画であった永青文庫所蔵と京都国立博物館所蔵の《狩猟図》の再会、江戸時代に八代松井家に伝わり、矢野派の作品の範となった長谷川派による《波濤図屏風》(出光美術館蔵)と、さらにその図様の元である長谷川等伯筆《波濤図襖》(重要文化財)(京都・禅林寺蔵)といった、細川家や熊本にゆかりのある名品を多数展示し、美術ファンに喜んでいただけた。

展覧会図録では、《領内名勝図巻》の全巻を初めてカラー図版で掲載したのをはじめ、初めて印刷物に掲載する作品も多く、また資料的価値の高いものとなった。

教育普及面においても、特別講演会、ミュージアム・セミナー、子ども美術館等の各種関連イベントも好評で、多くの参加者・聴講者を集めた。

集客面においては、8,167 名の入場者数に達した。観客の満足度、専門家からの高い評価、資料的価値の高い図録の発行等の成果を収めることができた。

## 関連行事

### ① 特別講演会

「雪舟と狩野派、そして細川三斎」

日 時：9月10日（土）13：30～15：00

場 所：本館・講堂

講 師：群馬県立女子大学講師 三宅 秀和氏

聴講者：89名

### ② ミュージアム・セミナー

「熊本から見た江戸時代絵画史」

日 時：10月8日（土）14：00～15：00

場 所：本館・講堂

講 師：主任学芸員 金子 岳史

聴講者：40名

### ③ 子ども美術館

「めざせ！雪舟流と狩野派鑑定団」（小・中学生向け講座&ワークショップ）

日 時：9月25日（日）10：30～12：00

場 所：本館・講堂

参加者：33名

# 第Ⅲ期 細川コレクション 〈常設〉 細川家の大名道具と雛飾り

会 期 平成 29 年 2 月 11 日（土・祝）～ 3 月 26 日（日）  
開催日数 38 日間  
会 場 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室  
主 催 熊本県立美術館送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
観 覧 料 一般 210 円（160 円） 大学生 130 円（100 円）  
高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金  
観覧者数 1,876 名  
担 当 者 金子 岳史



## 趣旨とその成果

改修工事後の幕開けとなった本展では、細川家の歴代藩主が用いた甲冑や細川家の邸宅を彩った絵画など、細川家伝来の大名道具を展示する他、近代細川家の雛飾りを展示。多くのお客様に、早春に相応しい華やかな雰囲気での展示を楽しんでいただくことができた。

細川家の甲冑は、細川家 2 代忠興（三斎）が考案した実用本位で軽量の三斎流具足が規範となり、歴代藩主の甲冑形式として継承。本展では、最後の藩主である細川韶邦の甲冑を展示した。

近代細川家の雛飾りは、細川家 16 代護立の息女・敏子の初節句に詠えられた雛人形・雛調度を中心に、護立の姉・猶姫の婚礼調度として用意された九曜紋入の雛調度など、明治時代から大正初期にかけての華やかな雛飾りを展示した。

また、絵画としては、桃山時代にキリスト教宣教師を通じて日本にもたらされた西洋画の技法によって描かれた貴重な作品である《洋人奏楽図屏風》（重要文化財）を展示するとともに、昨年熊本市内で発見され当館に寄託された伊藤若冲筆《墨菊図》を初公開した。

# 平成 28 年度スクールミュージアム

主 催 熊本県立美術館  
 展 示 物 浜田知明氏の作品（銅版画、原板）  
 観 覧 者 17 校 合計 3,150 名  
 担 当 者 石丸 美穂子、井上 正敏



## 趣旨とその成果

平成 18 年（2006）より、教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込み、学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。子どもたちが美術作品を鑑賞することで、芸術、文化を愛好する心情を育てると共に、学校の協力により、保護者、地域の方々にもひろく本館収蔵品を知ってもらう機会としている。例年 4 月に県内の学校に実施校の募集をし、希望のあった学校から 10 校程度を選出。10 月から 12 月の期間に各校 1 日で開催しているが、本年度は、熊本地震をうけ、児童・生徒、地域の方々の心の支えとしてもらうため、希望のあった県内の小中高等学校 17 校すべてで実施した。

具体的な内容については事前に開催校に赴いて担当者と協議し、鑑賞における要望等、実施計画を組み立てた。また、これまでの浜田知明の版画作品に加え、マルク・シャガールの版画集『サーカス』を追加し、この中から学校側の希望により 18～34 点を展示した。文化祭等行事での展示、鑑賞授業、小中連携など実施形態は様々で、当館職員はギャラリートークや、学校職員と協力して鑑賞授業を行った。美術館と学校との連携は学習指導要領にも明記され、今後ますます必要とされると考える。美術館の役割として、スクールミュージアムを実施する意義は大きい。

## 実施校

実施日	実施校	児童・生徒参加者数	保護者等参加者数	合計
10 月 7 日（金）	錦町立木上小学校	169	29	198
10 月 15 日（土）	上天草市立松島中学校	127	144	271
10 月 16 日（日）	上天草市立姫戸中学校	48	187	235
10 月 19 日（水）	人吉市立東間小学校	342	49	391
10 月 23 日（日）	玉名市立天水中学校	164	68	232
10 月 30 日（日）	熊本県立南関高等学校	15	157	172
11 月 1 日（火）	宇城市立松合小学校	42	52	94
11 月 4 日（金）	水俣市立緑東中学校	42	23	65
11 月 6 日（日）	宇土市立緑川小学校	87	96	183
11 月 7 日（月）	山都町立中島小学校	47	37	84
11 月 10 日（木）	熊本県立八代農業高等学校・泉分校	68	15	83
11 月 13 日（日）	上天草市立維和中学校	40	34	74
11 月 16 日（水）	錦町立西小学校	287	32	319
11 月 25 日（日）	熊本県立荒尾支援学校	130	130	260
12 月 10 日（土）	熊本県立聾学校	78	74	152
12 月 12 日（月）	熊本県立菊池支援学校	178	34	212
12 月 14 日（水）	荒尾市立清里小学校	100	25	125
総計	17 校	1,964	1,186	3,150

# 菊池恵楓園 1 日移動美術展「浜田知明作品展 2016 秋」

会 期	平成 28 年 11 月 3 日 (木・文化の日)
開催日数	1 日間
会 場	国立療養所菊池恵楓園 社会交流会館 (歴史資料館)
主 催	熊本県立美術館、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会 国立療養所菊池恵楓園
観 覧 料	無料
観覧者数	116 名
担 当 者	井上 正敏



## 趣旨とその成果

浜田知明作品をコレクションして来られた永野一成氏は、上益城郡の小・中学校で教職に就き、人権教育の実践者としてもよく知られた教師で、2005年病没された。生前、ハンセン病問題の啓発活動にも深く関わり、菊池恵楓園での展覧会を通し入所者や地域の方々に人間愛にあふれる浜田作品を見てもらいたいと願っておられたが、永野氏の病気等の為実現できなかった。収集された浜田知明作品 160 余点は、一成氏の逝去後奥様から県立美術館に一括して寄贈いただき、スクール・ミュージアムなどに活用されている。

今回で 10 回目となる本展は、浜田知明の銅版画 16 点、宮崎静夫の油彩画 1 点を、恵楓園の入所者や職員、そして地域の方々に間近で鑑賞していただく機会となった。天候にも恵まれ、事前 (10 / 24) に熊本日日新聞で本展の紹介もあったため、外部からも多くの方に時間をかけて鑑賞していただいた。社会交流会館の展示も充実しているので、「浜田知明作品展」とともに資料展示も見ていただき、作品鑑賞とハンセン病に対する啓発の貴重な機会ともなっている。

# ■ 浜田知明室 平成 28 (2016) 年度

## 概要

熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の版画作品を、毎期制作年代順にほぼ10点ずつ入れ替えながら展示し、併せて関連する彫刻作品を1、2点ずつ紹介している。今年度の第1期は、浜田知明の名を戦後美術史に刻むきっかけとなった〈初年兵哀歌シリーズ〉の銅版画10点と、戦場で扱っていた「四一式山砲」をモチーフとする彫刻作品《鳩と大砲》を展示した。第2期では〈初年兵哀歌シリーズ〉に続く銅版画《刑場 (A)》や《愛の歌》などと共に、震災で大きな被害を受けた御船町恐竜博物館に対するエールを込めて、彫刻作品《恐竜はテレビで何を見たか》を展示。第3期では画家の留学中の印象を描いた版画集『わたくしのヨーロッパ滞在記』から10点を展示し、同時期開催の「二の丸トラベル」展にあわせる構成とした。第4期では社会への批評・風刺を描いた作品を中心に、第5期では画家の白寿記念として、担当者が選ぶベスト10作品を展示した。



会 場 熊本県立美術館本館 2階浜田知明版画室

担 当 者 井上 正敏

## ◆会期・出品作品リスト

### □第1期 (4月8日～5月22日)

◇版画：《初年兵哀歌 (風景)》1952年、《初年兵哀歌》1952年、《頭》1952年、《青桐》1952年、  
《初年兵哀歌》1953年、《初年兵哀歌 (山を行く砲兵隊)》1953年、《初年兵哀歌 (陣地)》  
1953年、《風景》1953年、《仮標》1954年、《初年兵哀歌-風景 (一隅)》1954年、

◇彫刻：《鳩と大砲》1999年作

### □第2期 (5月28日～7月3日)

◇版画：《刑場 (A)》1954年、《刑場 (B)》1954年、《黄土地帯 (B)》1954年、《よみがえる亡霊》  
1956年、《副校長D氏像》1956年、《人》1956年、《一隅》1956年、《疑惑》1957年、《狂った  
男》1957年

◇彫刻：《恐竜はテレビで何を見たか》1997年

### □第3期 (7月16日～8月26日)

◇版画：《ロンドン塔》1969年、《騎士と鍵と女》1969年、《地下牢》1969年、《鏡》1970年、《騎士達  
は静かに眠る》1970年、《ドーバー海峡》1970年、《パリの壁から》1970年、《フランドル伯  
城》1970年、《ウィーン》1970年、《グランプラス》1971年

◇彫刻：《Hotel du Nord-Sud》1985年

### □第4期 (8月30日～10月10日)

◇版画：《飛翔》1958年、《地方名士》1958年、《群盲》1960年、《女》1960年、《怠惰》1961年、  
《風》1961年、《壁》1961年、《噂》1961年、《馬のトルソー》1961年、《かげ》1962年

◇彫刻：《気になる正体》1985年

□第5期（2月11日～3月26日）

◇版画：《初年兵哀歌(銃架のかげ)》1951年、《初年兵哀歌（歩哨）》1951年、《風景》1953年、《初年兵哀歌（歩哨）》1954年、《よみがえる亡霊》1956年、《愛の歌》1957年、《飛翔》1958年、《アレレ…》1974年、《月夜》1977年、《ボタン（B）》1988年

◇彫刻：《飄々》2002年、《杖をつく男》2013年

# ■装飾古墳室

## 〈常設展示室〉

装飾古墳室は、古代から現代に至る本県の美術史の原点として設けたものである。

九州における装飾古墳は、5世紀から7世紀にかけて盛行して、現在全国で発見されている約660基の過半数369基が九州地方に、特に196基が熊本県に集中している。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にあるといえる。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されて墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。

しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

なお、装飾古墳室の一部エリアは、熊本地震による被害のため、公開を中止している。



### 〈レプリカ・模刻〉

No. 名称	出土地名	指定
1 大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2 千金甲古墳 (1号)	熊本市西区小島下町	〃
3 井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4 鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5 弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6 チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

### 〈石材・石人等〉

No. 名称	出土地名	所蔵(保管)者名
1 広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2 鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3 白塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4 姫ノ城古墳出土翳・蓋・鞆	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

# ■教育普及

## □各種講座等

### 子ども美術館活動

回	期 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1	6月5日(日)	貝でキーホルダーをつくろう	石丸美穂子(参事)、才藤あずさ(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	16名
2	7月24日(日)	クイズに答えてスタンプラリー！展示室旅行に出発	石丸美穂子(参事)、山田貴司(参事)、林田龍太(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	43名
3	8月21日(日)	点てんテンで巨大アートに挑戦	石丸美穂子(参事)、岡田真梨子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	54名
4	9月25日(日)	めざせ！雪舟流と狩野派鑑定団	石丸美穂子(参事)、金子岳史(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	33名
合計				146名

### 出張授業及び研修等

	期 日	内 容	担 当 者	場 所
1	4月～7月	熊本大学学芸員資格取得課程(展示論・教育論) 講師	村上 哲	熊本大学(熊本市)
2	6月9日(木)	県民カレッジ講座講師	有木芳隆	パレア
3	8月20日(土)	ランス美術館展出張講座講師「レオナルド・フジタとランス美術館」(アクロス・文化学び塾)	村上 哲	アクロス福岡
4	9月10日(土)	ランス美術館展記念講演会講師(静岡市美術館)「レオナルド・フジタとランスー魂の安寧の地へ」	村上 哲	静岡市美術館
5	9月15日(水)	県民カレッジリレー講座講師	金子岳史	パレア
6	10月25日(火)、11月5日(土)	第41回宮崎市美術展審査・講評会	林田龍太	みやざきアートセンター(宮崎市)
7	11月18日(金)	第21回日本高校生デザイングランプリ作品審査、総評・作品講評	村上 哲	熊本デザイン専門学校(熊本市)
8	11月16日(水)	熊本元気塾講座講師	山田貴司	熊本市流通会館
9	12月4日(日)	九州国立博物館公開シンポジウム 熊本地震と文化財レスキュー事例報告	有木芳隆 山田貴司	九州国立博物館
10	12月10日(土)	第21回日本高校生デザイングランプリ表彰式、記念講演会「血肉化 in Art」 講師	村上 哲	熊本デザイン専門学校(熊本市)
11	12月10日(土)	第2回美術教育シンポジウム講師	石丸美穂子	熊本大学
12	12月15日(木)、2月11日(土)	草枕美術展 FINAL 審査・講評会	林田龍太	玉名市草枕交流館
13	1月27日(金)	岡山県博物館協議会研修会講師「熊本地震と美術館ー未曾有の災禍から再開へ」	村上 哲	岡山県立美術館
14	8月1日(月)～2日(火)	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	石丸美穂子	東京国立近代美術館、国立新美術館

15	10月3日(月)	学芸員技術研修会(アート教育)	岡田真梨子	熊本県立美術館
16	10月10日(木)、 10月11日(金)	九州博物館協議会研修会	山田貴司	福岡県立美術館
17	10月24日(月) ～28日(金)	指定文化財展示取扱いセミナー	山田貴司	京都国立博物館
18	11月30日(水)	学芸員技術研修会(著作権)	岡田真梨子	長崎県美術館

□ミュージアムセミナー ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

回	期日	テーマ	講師	参加者数
1	6月11日(土)	大名の嗜みと遊び	主任学芸員 才藤あずさ	38名
2	6月25日(土)	発掘30年! 謎の古代寺院、池辺寺	熊本市熊本城調査研究センター 副所長 網田 龍生 氏	86名
3	8月6日(土)	レオナルド・フジタとフランス絵画 —ランス美術館展から	学芸課長 村上 哲	57名
4	8月20日(土)	肥後から江戸へ! 熊本藩の参勤交代	学芸課参事 山田貴司	54名
5	9月17日(土)	細川家の殿さま—名君・細川重賢—	学芸員 宮川聖子	41名
6	10月8日(土)	熊本から見た江戸時代絵画史	主任学芸員 金子岳史	40名
合計				316名

□学芸員の深イイ話—熊本県立美術館公開講座—

回	期日	テーマ	講師	参加者数
1	2月18日(土)	フジタ巡礼の旅路—藤田嗣治研究の10年	学芸課長 村上 哲	75名
2		規範と写実: 19世紀美術の「正統」	学芸員 岡田真梨子	
3	2月25日(土)	仏像の耳を観る —耳の形からみえてくる仏師の個性—	学芸課主幹 有木芳隆	71名
4		佐々木耕成と熊本、そして「反芸術」	主任学芸員 林田龍太	
5	3月4日(土)	肥後の震災史をたどって	学芸課参事 山田貴司	72名
6		日本美術史における伊藤若冲の位置 —新出作品《墨菊図》の紹介を兼ねて—	主任学芸員 金子岳史	
合計				218名

□実技講座

期 日	講座内容	講 師	参加者数
7月27日(水)～29日(金) 8月3日(水)～5日(金) 全6日間	「ランス美術館展」関連講座(フレスコ画) フレスコ画で知るレオナルド・ダ・ヴィンチ	画家 崇城大学教授 有田 巧氏	11名
※「フレスコ画」「日本画」の講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。			合計 21名

□学芸員資格取得課程実習(博物館実習)

期 日	実習生所属大学等	実習生数	場 所	担 当
8月26日(金) ～ 9月1日(木)	熊本大学・佐賀大学・崇城大学・ 筑紫女学園大学・立命館大学・ 筑波大学に在籍する大学生	9名	本館 会議室等	山田 貴司 (学芸課参事) 他学芸課職員

□熊本市内中学校ナイスライ(職場実習) 事業協力

期 日	学 校	担 当	場 所	参加者数
9月14日(水)、 15日(木)	熊本市立京陵中学校 2年生(3名)	井上正敏 他	会場受付、監視補助、鑑賞教材作成補助	3名
9月14日(水) ～16日(金)	熊本市立白川中学校 2年生(3名)	井上正敏 他	会場受付、監視補助、鑑賞教材作成補助	3名
				合計 6名

□講演会

期 日	テ ー マ	講 師	参加者数
7月16日(土) (11:00～12:00)	ランス美術館への招待—フランス絵画の 精華とレオナルド・ダ・ヴィンチ	ランス美術館 館長カトリーヌ・ドゥロ氏	124名
9月10日(土) (13:30～15:00)	雪舟と狩野派—そして細川三斎	群馬県立女子大学 講師 三宅 秀和氏	89名
			合計 213名

## □平成 28 年度熊本県立美術館ボランティアの活動

### ■美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成 4 年に美術館友の会を母体としてスタートし、平成 5 年以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成 25 年度からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

平成 28 年度は 48 名が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。

◆美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とする。そのために、次の活動を行う。

- 美術館運営のための支援（作業・広報）活動。
- ワークショップ活動（教育普及）の支援活動。

### ■活動内容について

1) 各グループでの活動（4 グループのいずれかに所属し活動する）

- ① 図書グループ  
毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。
- ② 資料グループ  
月 2 回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。
- ③ ポスターグループ  
第 2 月曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。
- ④ 子ども美術館グループ  
年に 4 回、前日の活動を合わせると 8 回活動し、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

(2) その他の活動（希望者による活動）

- ① 障がい者支援  
【障がいのある方々の鑑賞デー】  
本年度は、8 月 1 日（月）、10 月 3 日（月）の 2 回開催。午前・午後の交替制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。
- ② NHK 美術館コンサートのサポート  
ボランティアの希望を募って実施、毎回 10 人ほど募集し、会場整理等を行った。
- ③ 美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）  
美術館のミュージアムセミナー、講演会に参加した。毎回 20 人程度が参加している。
- ④ 自主学習会  
意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

□平成 28 年度 NHK・美術館コンサート記録

回	月	日	曜	時 間	出 演 団 体	曲 目	場 所	
157	9	3	土	午後 2:00 ～ 3:15	第 1 部 山崎明 (サクソフォン) 「サクソフォンで奏でるフ ランス音楽と復興への願 い」	ファンタジー トロイメライ コンチェルティーノ より第 2, 3 楽章 復興支援ソング「花は咲く」 回想ワルツ	D. ベダー 作曲 J. リュエフ 作曲 (作曲) アストル・ピアソラ (編曲) エリック・サミュ 菅野よう子 作曲 山崎明 作曲	熊本県立 美術館 吹抜 ホール
					第 2 部 池田奈穂 (ピアノ) 「フランスの調べをピアノ にのせ、熊本へ」	フランス組曲第 5 番 BWV816 1. アルマンド / Allemande 2. クーラント / Courante 3. サラバンド / Sarabande 4. ガヴォット / Gavotte 5. ブーレ / Bourrée 6. ルール / Loure 7. ジーグ / Gigue 舟歌 Op.60	バッハ 作曲 ショパン 作曲	
158	3	11	土	午後 2:00 ～ 3:15	第 1 部 志賀総学 (ピアノ) 濱邊真寿 (オーボエ) 尾上香織 (ヴァイオリン) 「トリオによる名曲・ヒット 曲を交えたアンサンブル」	オーボエとヴァイオリンのための協奏曲第 1 楽 チャルダッシュ The Ludlows 海の声 リベルタンゴ	L. アルディーティ 作曲 モンティ 作曲 ジェームズ・オーナー 作曲 島袋優 作曲 アストル・ピアソラ 作曲	同上
					第 2 部 前田和美 (ソプラノ) 村田陽子 (ピアノ伴奏) 「声楽・ソプラノの高音の 調べ」	くちづけ ア ヴェ・マリア さくら横ちょう 演奏会用アリア「すてきな春に」 歌劇「ジャンニスキッキ」より“私のお父さん” (アンコール) 復興支援ソング「花は咲く」	L. アルディーティ 作曲 マスカーニ 作曲 中田喜直 作曲 小林秀雄 作曲 ブッチェーニ 作曲 菅野よう子	

# IV 資料

## ■観覧者状況及び事業報告

### □年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	22	525	191,658	365	175	1,034	233,227	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	21	652	137,416	211	168	1,069	281,306	263	189	1,721	418,722	243
平成25年度	24	766	140,291	183	171	1,047	222,282	212	195	1,813	362,573	200
平成26年度	24	736	101,242	138	163	1,050	274,295	261	187	1,786	375,537	210
平成27年度	21	586	82,968	142	123	801	214,023	267	144	1,387	296,991	214
平成28年度	26	316	45,880	145	95	586	97,932	167	121	902	143,812	159
累 計	737	20,019	5,756,395	288	4,021	25,514	6,066,620	238	4,758	45,533	11,823,015	260

※平成23年度以降に関しては、「主催・共催展」に名義共催も含んでいます。



□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
第35回 熊日新鋭・学童書道展	6/21～6/26	6	株式会社 熊本日日新聞社	高校生以上対象新鋭の部 中学生以下対象学童の部 入賞作品約800点の展示。	1,081	
第29回 選抜臨書展、 第27回 選抜茶掛展	9/13～9/19	7	国際文化交流会	選抜臨書展・・・日中歴代の書の名作の臨書作品約80点を時代順に展示。 選抜茶掛展・・・掛軸形式の書作品約80点を展示。	1,594	
第43回 学生学童書道展	9/21～9/25	5	国際文化交流会	熊本県内の小、中、高校生、学生を対象とした書道作品の展示。	1,160	
第38回 熊本県書道展	9/27～10/2	6	熊本書法文化振興会	一般公募200点、会友、無鑑査、準会員180点の作品の展示。	630	
第22回 熊本デザイン専門学校卒業制作展、 第23回 日本高校生デザイングランプリ作品展	2/14～2/19	6	熊本デザイン専門学校	第22回 熊本デザイン専門学校卒業制作展・・・グラフィック、建築、インテリア、メディア映像、ファッション等のデザイン分野、学生卒業制作作品200点程度の展示。 第23回 日本高校生デザイングランプリ作品展・・・県内外の高校生。上位入賞者、入選、佳作、平面、立体、映像、写真等の作品200点程度の展示。	464	
崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/21～2/26	6	崇城大学 芸術学部	日本画5点、洋画16点、彫刻5点、芸術文化3点、視覚芸術7点、デザイン22点の展示。	859	
第57回 熊日書道展	2/28～3/5	6	株式会社 熊本日日新聞社	漢字、かななど7部門の応募作品から審査を通過した入選以上の195点と本展の委嘱作家及び無鑑査の65点の計260点の展示。	1,239	中学生以上 300円
いのちかがやく子ども美術展 in Kumamoto	3/7～3/12	6	子ども美術文化研究会	子どもの絵と造形と工作の展示。	504	
第19回 玄泉全国書道展	3/14～3/20	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範等の作品の展示。	867	
小 計		55			8,398	

## 分館(展示室1・2・3)

## 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
第100回記念二科展熊本巡回展	4/5～4/14	9	(株)熊本県民テレビ	絵画・彫刻・デザイン・写真 約300点の展示	14,570	一般 800円 高・大生 500円 中学生以下無料
第69回示現会展	5/10～5/15	6	一般社団法人示現会熊本支部	平成28年4月国立新美術館で開催される第69回示現会展の作品より約60点を選び巡回展示する。合わせて本展に熊本県内より出品された作品を30点程同時展示する。作品は油彩、水彩、版画である。	2,012	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
清和小型条幅書初展	5/17～5/22	6	清和書道会	半切1/4の小型条幅の書初展 幼児から一般までの入賞作品を600点展示	344	
2016 安永健二郎 油彩・水彩画展	5/24～5/29	6	安永健二郎	0号～100号までの油彩画、水彩画約90点	777	
第22回コスモス油彩展	5/24～5/29	6	絵画グループコスモス	油絵(0～100号)鉛筆画 人物、静物、風景など	613	
のびる展	5/31～6/5	6	のびる	油絵(大江公民館油絵講座生によるグループ展)	330	
写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影合同展	5/31～6/5	6	写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影	写真(カラー、モノクロ)大版(全紙、A3ノビ)2種類の写真用紙を用い一人3～4点を出展(会場展示数50～60点)	577	
第24回玉名美術協会展	6/7～6/12	6	玉名美術協会	日本画・洋画・陶芸 約35点	608	
JIA 熊本会建築家の会作品展	6/14～6/19	6	日本建築家協会九州支部熊本地域会	熊本の建築家の作品を図面や写真でのパネル及び模型で展示	158	
第68回創元会熊本支部展	6/21～6/26	6	創元会熊本支部	油彩画	484	
第28回熊工会美術展	6/21～6/26	6	熊工会美術展実行委員会	・作品 平面(油彩画、日本画、水彩画、水墨画、写真、デザイン、工芸作品等) 立体(建築パースデザイン、工芸作品等) ・点数 40点 ・出品者 25名	474	
第15回フォト千葉城写真展	6/28～7/3	6	フォト千葉城	写真全紙サイズ70点 自然 風景 スポーツ その他	698	
熊本独立作家展	6/28～7/3	6	熊本独立作家	洋画100号～130号 約12名の作家で合計25～30点位を展示	673	
第9回千艸会合同展 心豊かに趣味の水墨画展	7/5～7/10	6	千艸会	水墨画	750	
第14回江原写友会写真展	7/5～7/10	6	江原写友会	写真展(半切から全紙サイズの写真を1人3点ずつ90点展示)	630	
第79回銀光展	7/12～7/18	7	銀光会	銀光会会員、会友の作品 公募展として一般の作品(入選作品のみ) 具象絵画を基盤とし、熊本で最古の公募展で約240点個性的創造的な作品展示	3,914	一般 100円 大学生以下無料
川畑雅弘写真展 清和文楽	7/20～7/24	5	川畑雅弘	半切・全紙約70点 山都町に約160年前から農民芸能として伝わる人形浄瑠璃芝居 清和文楽の舞台保存会(県無形文化財)の人々の伝承芸能に取り組む姿の記録	395	
第35回兼城昌山とそのグループ展〈書〉	7/20～7/24	5	昌山会	兼城昌山が指導するNHK文化センター、熊日生涯学習センターの受講生による作品発表(書道) 漢字、かな、大字書等	358	
第7回墨彩画無窮会展	7/26～7/31	6	墨彩画無窮会	水墨画、墨彩画にて、花鳥、山水画等を掛軸、額装にて50～60点ほど展示	692	
清和条幅展・七夕展	7/26～7/31	6	清和書道会	条幅作品(半切)30点 七夕作品(半紙)600点 入賞以上の作品	476	
のびやかクラブ作品展	8/2～8/7	6	のびやかクラブ	油彩・水彩 20名×3点	447	
第44回硯心展	8/2～8/7	6	硯心会	書道作品約50点	639	
武蔵野美術大学校友会熊本支部展	8/9～8/14	6	武蔵野美術大学校友会熊本支部	油絵 水彩 彫刻 日本画 デザイン 建築 その他 出品者約25名	723	
第28回熊本県シルバー作品展	8/23～8/28	6	一般財団法人熊本さわやか長寿財団	日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門を展示	2,469	
第39回養心書道展	8/30～9/4	6	養心書道会	日展会友・入選作家、熊日展入賞・入選作家、玄泉全国師範他養心書道会会員の作品 展示作品の種類・2×8尺(額)・全紙(額)・半切(額・軸)・小作品(額・軸)	572	
一般社団法人 日洋会熊本支部展	8/30～9/4	6	一般社団法人日洋会熊本支部	油彩・水彩画等(F30号～F50号)35点余りを展示	907	
第2回異種作品展	9/6～9/11	6	西川誠一	油絵・水彩・ペン画・書・写真・木工品 その他 約50点	407	
日本風景写真協会熊本支部 第10回写真展	9/6～9/11	6	日本風景写真協会熊本支部	全紙大風景写真約50点	870	
パンゲア。展 Vol.16	9/13～9/19	7	パンゲア。展	油絵・水彩・日本画・色えんぴつ 立体 点数約80点	545	
計		177			37,112	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
'16 江原会美術展	10/ 4 ~ 10/10	7	江原会美術展実行委員会	熊本中学・高校の卒業生及び在校生の作品(日本画、洋画、彫刻、工芸、デザイン)約60点展示	638	
北山憲一写真展「九重礼讃」	11/15 ~ 11/20	6	北山憲一	展示作品はすべて九重連山で撮影した山岳写真で九重連山がもつ感動的な四季の景観を写し撮っている。作品は大型(B1サイズ)から全紙サイズを80~90点展示	610	
林瑞栄個展	11/15 ~ 11/20	6	林瑞栄	油彩画	1,176	
「くまもと障がい者芸術展」及び「NHK ハート展」	11/22 ~ 11/27	6	くまもとハートウィーク実行委員会	・くまもと障がい者芸術展 障がい者が制作した絵画・書道・陶芸・工芸品等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 ・NHK ハート展 全国の障がい者が綴った詩に各界の著名人が「ハート」をモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	1,258	
第57回熊日写真展	11/22 ~ 11/27	6	熊本日日新聞社事業局	熊日賞の部98点、新人の部11点に招待作家約10点を加えた計約120点を展示	1,437	
くまもと「描く力」2016・熊日美術公募展	11/29 ~ 12/11	12	熊本日日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入選以上の作品約150点を展示	4,495	
第41回熊本県高等学校美術展	12/13 ~ 12/18	6	熊本県高等学校文化連盟美術部	県内の高校生が授業や部活動で制作した絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸・映像の作品約200点	1,744	
第52回熊本県高等学校書道展	12/20 ~ 12/25	6	熊本県高等学校文化連盟書道部	県内の書道を愛好する高校生の作品約320点を展示。内容は臨書・創作、書体は楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名・漢字仮名交じり書などバラエティに富む。教職員展も同時開催	1,421	
フォト「たばっざか」写真展	1/ 5 ~ 1/ 9	5	フォト「たばっざか」	台紙全紙に中身(全紙または半切、A3サイズ)を入れ、合計約70点を展示	771	
第70回熊日学童スケッチ展	1/ 5 ~ 1/ 9	5	熊本日日新聞社事業局	各賞を受賞した小学生・中学生達の作品展示会	1,027	
第39回尚綱大学書道展	1/11 ~ 1/15	5	尚綱大学	漢字各書体及び、仮名の臨書、創作、倣書や篆刻、刻字、水墨画、漢字仮名交じりなど約180点を額やパネル、軸、帖、卷子などに表装して展示 会期中には本学主催の高校生書道展の優秀作品の展示と表彰式を実施	692	
第14回熊本市立必由館高校芸術コース美術・書道系卒業制作展	1/17 ~ 1/22	6	熊本市立必由館高等学校	・美術系 3年生の卒業制作約40点 デッサン・デザイン約15点 テンペラ画など約10点 賛助出品6点 ・書道系 3年生の卒業制作約40点 賛助出品6点	1,268	
ニコールクラブ熊本支部写真展	1/24 ~ 1/29	6	ニコールクラブ熊本支部	熊本支部作品約80点 ニコールフォトコンテスト作品約50点	641	
第27回手でみる造型展	1/24 ~ 1/29	6	熊本県文化協会	熊本県内の彫刻家、造形作家また県内の大学、短大、小、中、高校の児童・生徒及び盲学校の生徒の作品の展示 文字どおり手で触ってみる、そして感じ取っていただくユニークな展覧会である	712	
書き初め席書展	1/31 ~ 2/ 5	6	国際文化交流会	書き初め席書会の全作品	223	
2017 アトリエ・パレット「輝く子どもの世界」展	1/31 ~ 2/ 5	6	アトリエ・パレット	水彩画、デザイン、工作など幼児~小学6年生の子ども100名の作品を大小約600点展示	849	
第4回再興南枝塾展	2/ 7 ~ 2/12	6	再興南枝塾	日本画6号~150号までの約40点	540	
しんか展	2/ 7 ~ 2/12	6	熊本パイロットクラブ	18歳以上の療育手帳保持者の絵画約60点の展示	366	
第30回国際文化交流会選抜臨書展	2/14 ~ 2/19	6	国際文化交流会	半切額 半紙額 掛軸 帖等約70点	339	
熊本二紀作家展	2/14 ~ 2/19	6	熊本二紀会	油彩画	485	
米田瑞泉墨彩画&絵手紙展	2/21 ~ 2/26	6	米田瑞泉	全紙額 1、半切軸 10、茶掛 5~8、半切1/4額 15~20、F10 5、F6 5、その他小物を展示 書道軸2~3本(墨彩画&詩画軸)	557	
にんじん絵画グループ展	2/21 ~ 2/26	6	にんじん絵画クラブ	菊陽町の町民センターにて毎土曜日午後1:00~4:00の絵画教室会員(講師上村隆一先生)の成果発表 人数14名(1人5~6点) 油絵 小品~100号	605	
熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作展	2/28 ~ 3/ 5	6	熊本大学教育学部美術科	油彩画などの絵画(約10点) 人物をモチーフとした彫刻(約10点) デザイン(約3点) 美術教育、美術史、美術理論に関する研究論文の発表(約7点)	492	
熊本大学教育学部美術科在科生展	2/28 ~ 3/ 5	6	熊本大学教育学部美術科	油彩画などの絵画(約10点) 人物をモチーフとした彫刻(約10点) デザイン(約3点) 美術教育、美術史、美術理論に関する研究論文の発表(約7点)	487	
計		148			22,833	
合 計		325			59,945	

## 分館（ギャラリー）

## 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
第100回記念二科展熊本巡回展	4/5～4/14	9	㈱熊本県民テレビ	絵画・彫刻・デザイン・写真 約300点の展示	4,004	一般 800円 高・大生 500円 中学生以下無料
第4回示現会熊本支部公募展	5/10～5/15	6	一般社団法人示現会熊本支部	公募し入選、入賞した作品約60点（大きさ10号～30号）の絵画作品を展示	1,088	
エルンスト・フックス、木村鉄郎展	5/17～5/22	6	木村満知子	版画	442	
第24回KAZE展&第16回こっぺぱん展	5/24～5/29	6	アートKAZE	日頃の教室での制作の発表展 油彩、水彩、パステル画など約40点	687	
大堂喜美子傘寿記念展	5/31～6/5	6	大堂喜美子	書道作品（近代詩文書を主とし、他に少数の漢字、仮名） 水墨画及び日本画作品	335	
水彩画グループ「つくし会」作品展	6/7～6/12	6	水彩画グループ「つくし会」	風景画 静物画 人物画 F50 各自3点×8 計24点 F4～F6 各自3～5点 計40点	445	
第10回石交会墨のアート展 併設 字手紙展	6/14～6/19	6	石交会	漢字 調和体 篆刻 一字書 字手紙 仮名	483	
第38回虹の会版画展	6/28～7/3	6	虹の会	虹の会会員15名による新作版画の展示及び交流団体「きつつきの会」（竹田市）の作品展示も行う	711	
第42回写団あけぼの会「野の花」と「風景」	7/5～7/10	6	写団あけぼの会	野山に自生する「野の花」の接写を四つ切額入りにて約30点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示	872	
第79回銀光展	7/12～7/18	7	銀光会	銀光会会員、会友の作品 公募展として一般の作品（入選作品のみ） 具象絵画を基盤とし、熊本で最古の公募展で約240点個性的創造的な作品展示	1,879	一般 100円 大学生以下無料
木村満知子透明水彩画展	7/20～7/24	5	木村満知子	F6号からF20号までの透明水彩画約30点	546	
「タバサを描く」展	7/26～7/31	6	「タバサを描く」展	モデルタバサを題材にした40点程の油絵 パステル 水彩などの展示	779	
中村賢五水墨画展	8/2～8/7	6	中村賢五	水墨画約35点	688	
第9回輪の会作品展	8/9～8/14	6	輪の会	油彩 水彩 版画 水墨画 約25点	571	
2人展（長野紀子と中村美由紀の物語）	8/23～8/28	6	中村美由紀	油彩画 SM～120号まで	1,051	
美感遊創展	8/30～9/4	6	春山千章	熊本ゆかりの工芸作家達による作品の造形美を最大限に活かした水墨アート作品とのコラボ展	1,023	
魂喜誠創神使展	9/6～9/11	6	遠藤徳人	S30号、M50号のサイズの絵画を中心に20作品程展示 展覧会名称のごとく、見る人が自分にひそんでいる神などの信じる心が多くの人に伝わるようにと思ひ展示	283	
原田節子作品展	10/4～10/10	7	原田節子	10年程前から現在までの油絵	597	
第8回パソコン・アート展	11/8～11/13	6	熊本パソコン・アート倶楽部	家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩画風な絵を作成 浮世絵や季節をテーマにした風景画を展示 ①額入りA1サイズ20点 ②額入りA3サイズ20点 ③色紙・絵葉書等20点	299	
RKKカルチャーセンター絵画講座展	11/15～11/20	6	RKKカルチャーセンター絵画教室	RKKカルチャーセンターの絵画受講生22名が作品を並べる。F60号～F6号油彩・水彩画作品50点	744	
「くまもと障がい者芸術展」及び「NHKハート展」	11/22～11/27	6	くまもとハートウィーク実行委員会	・くまもと障がい者芸術展 障がい者が制作した絵画・書道・陶芸・工芸品等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 ・NHKハート展 全国の障がい者が綴った詩に各界の著名人が「ハート」をモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	1,488	
くまもと「描く力」2016・熊日美術公募展	11/29～12/11	12	熊本日日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入選以上の作品約150点を展示	2,466	
第41回熊本県高等学校美術展	12/13～12/18	6	熊本県高等学校文化連盟美術部	県内の高校生が授業や部活動で制作した絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸・映像の作品約200点	987	
第52回熊本県高等学校書道展	12/20～12/25	6	熊本県高等学校文化連盟書道部	県内の書道を愛好する高校生の作品約320点を展示。内容は臨書・創作、書体は楷書・行書・草書・隸書・篆書・仮名・漢字仮名交じり書などバラエティに富む。教職員展も同時開催	805	
第29回朱土会日本画展	1/5～1/9	5	朱土会	西村淳先生（日本美術院々友）の指導で日本画を学習している仲間の年に1度の発表会 4号～100号迄40点	978	
東輝雄個展	1/11～1/15	5	東輝雄	油彩絵画 F130号から小品まで約40点	640	
清和小型条幅書初展	1/17～1/22	6	清和書道会	半切四分の一による書初 幼児から大人600点程展示	524	
日田栄子現代水墨画展	1/24～1/29	6	日田栄子	水墨画100号10点 50号10点 20号10点 木炭デッサン5点 合計35点の作品出展	1,111	
第38回水彩連盟熊本支部展	1/31～2/5	6	水彩連盟熊本支部	水彩画だけの展覧会である 水彩連盟熊本支部の会員が一人一点ずつ約30点 F50～F120の作品を展示	880	
熊本デジカメ倶楽部写真作品展	2/7～2/12	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員15名が撮影した県内外の風景や祭り、ポートレート等いろんなジャンルの写真	482	
村上杏子卒業書作展	2/14～2/19	6	村上杏子	篆書・隸書・楷書・行書・仮名の臨書作品や創作作品等（約15点）	431	
NHKカルチャー基礎からの油絵講座作品展	2/21～2/26	6	金洋会	油絵 大きさF50号～F4号程度迄 35点程度	678	
第37回熊本大学教育学部美術科同窓会展	2/28～3/5	6	熊本大学教育学部美術科同窓会	洋画・日本画・彫刻・デザイン・工芸の多岐にわたっており例年約50点程度を展示	592	
計		206			29,589	

## 分館（展示室1・2・3ギャラリー）

## 合計

		531			89,534	
--	--	-----	--	--	--------	--

## 本館・分館 総合計

		586			97,932	
--	--	-----	--	--	--------	--

# ■収蔵品の概要

## 熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

### 1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

- (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品
  - ①彫刻（仏神像など）
  - ②絵画（仏画など）
  - ③工芸品（染織品や能道具、刀剣など）
  - ④書蹟・墨蹟
- (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品
  - ①絵画（御用絵師や文人などの作品）
  - ②工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）
  - ③書蹟・墨蹟
  - ④加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料
- (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料
- (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

### 2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本の美術史を体系化しうるコレクションの形成を目指す。

- (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料  
※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。  
※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。
- (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品
- (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
  - ①今西コレクションの近代版画・工芸・人形
  - ②細川コレクションの近代洋画・日本画
  - ③その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画
  - ①近代版画の動向を示す作品
  - ②戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
  - ③今日の美術における版画表現の動向を示す作品
  - ④上記の作品に関連する資料

### 3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

- (1) フランスの近代絵画
  - ①印象派と 19 世紀フランス絵画  
印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19 世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品
  - ②エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）  
エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20 世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。
- (2) 西洋版画の系譜の体系化
  - ① 16 世紀から 18 世紀までの古典版画（Old Master Print）
  - ② 19 世紀から 20 世紀前半までの近代版画（Modern Print）
  - ③ 20 世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）
- (3) 近・現代の西洋彫刻
  - ①近代フランスの彫刻  
ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品
  - ②現代の彫刻  
20 世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品
- (4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

### 4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

## □平成 28 年度美術品収集品目

### ■購入作品（平成 28 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法 (cm)	制作年
1	裂封冊（豊公）	高橋廣湖	絹本着色・額装	114.3 × 82.6	1905(明治 38) 年
2	家族	森芳雄	油彩・キャンバス	60.4 × 72.6	1956(昭和 31) 年

### ■寄贈作品（平成 28 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法 (cm)	制作年
1	四季花鳥図押絵貼屏風	杉谷行直	紙本着色・屏風装	各紙 95.3 × 43.9	江戸時代後期 (19世紀前半)
2	象嵌印花文皿	松尾焼	陶器	径 21.8cm~ 23.2cm	江戸時代~明治時代 (19世紀)
3	三宅家文書	細川家家臣 三宅家伝来			桃山(17世紀)~ 明治時代(19世紀)
4	熱国図巻	堅山南風	紙本着色・卷子装	29.4 × 599.3	1917(大正6)~ 1918(大正7)年
5	雪の朝	堅山南風	絹本金地着色・屏風装	(右)169.6 × 342.0 (左)170.0 × 341.8	1921(大正10)年
6	十六羅漢	堅山南風	絹本着色・掛幅装	(右)137.1 × 50.1 (左)137.2 × 50.1	1944(昭和19)年
7	蜃気楼	平林武良	油彩・キャンバス	48.5 × 63.5	1965(昭和40)年
8	日記 1969 年 6 月 7 日	野田哲也	木版、シルクスク リーン・和紙	85.0 × 85.0	1969(昭和44)年
9	日記 1970 年 4 月 22 日 ニューヨーク(a)	野田哲也	木版、シルクスク リーン・和紙	24.0 × 24.0	1970(昭和45)年
10	日記 1970 年 4 月 26 日 ニューヨーク	野田哲也	木版、シルクスク リーン・和紙	19.5 × 19.5	1970(昭和45)年
11	日記 1970 年 5 月 24 日	野田哲也	木版、シルクスク リーン・和紙	44.5 × 44.5	1970(昭和45)年
12	夢跡	高濱英俊	花崗岩	158.0 × 73.8 × 41.3	1983(昭和58)年
13	遠隔操作 V	高濱英俊	安山岩、花崗岩	174.5 × 89.0 × 77.8	1983(昭和58)年
14	作品 '61	マナブ・間部	水彩・紙	50.0 × 70.0	1961(昭和36)年
15	A・ヴォラール 1931 年 出版 バルザック著 『知られざる傑作』 ピカソ オリジナル版画 13 点入り	パブロ・ ピカソ	エッチング・紙、 書籍	作品 21.5 × 30.0 函 34.5 × 27.0 × 5.2	1931年

## ■収蔵品の概要

### ■収蔵品一覧表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	県 有 美 術 品									寄 託 品			合 計			
	購 入			寄 贈			小 計			27年度 までの 寄 託	28年度 寄 託	小 計	27年度 までの 計	28年度 計	計	
	27年度 までの 購 入	28年度 購 入	小 計	27年度 までの 寄 贈	28年度 寄 贈	小 計	27年度 までの 計	28年度 計	小 計							
日本 古美術	絵 画	183		183	295	1	296	478	1	479	265	1	266	743	2	745
	書 跡	201		201	177		177	378		378	158		158	536		536
	彫 刻				1		1	1		1	28		28	29		29
	工芸(陶磁)	104		104	67	1	68	171	1	172	20		20	191	1	192
	工芸(その他)	8		8	226		226	234		234	704		704	938		938
	考 古										9		9	9		9
	そ の 他				4	1	5	4	1	5	6		6	10	1	11
	計	496		496	770	3	773	1,266	3	1,269	1,190	1	1,191	2,456	4	2,460
日本 近現代	油 彩 画	115	1	116	417	1	418	532	2	534	15	1	16	547	3	550
	版 画	275		275	592	4	596	867	4	871	4		4	871	4	875
	デッサン	45		45	282		282	327		327	2	2	4	329	2	331
	彫 刻	69		69	28	2	30	97	2	99	4		4	101	2	103
	工 芸	105		105	112		112	217		217	1		1	218		218
	日本画	176	1	177	156	3	159	332	4	336	17		17	349	4	353
	水彩画	16		16	105		105	121		121	4	2	6	125	2	127
	そ の 他	2		2	97		97	99		99				99		99
	計	803	2	805	1,789	10	1,799	2,592	12	2,604	47	5	52	2,639	17	2,656
東 洋	絵 画	10		10	1		1	11		11	1		1	12		12
	書 跡	2		2	2		2	4		4				4		4
	彫 刻				1		1	1		1	1		1	2		2
	工 芸	12		12	12		12	24		24				24		24
	考 古				110		110	110		110				110		110
	計	24		24	126		126	150		150	2		2	152		152
西 洋	油 彩 画	10		10	3		3	13		13	3		3	16		16
	版 画	214		214	55	1	56	269	1	270				269	1	270
	デッサン	2		2	1		1	3		3				3		3
	彫 刻	8		8	1		1	9		9				9		9
	水彩画	4		4	4	1	5	8	1	9				8	1	9
	計	238		238	64	2	66	302	2	304	3		3	305	2	307
合 計	1,561	2	1,563	2,749	15	2,764	4,310	17	4,327	1,242	6	1,248	5,552	23	5,575	

## □平成 28 年度美術品貸出記録 (館蔵品)

※平成 28 年度中に他館に貸し出し、平成 29 年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
ビエール＝オーギュスト・ルノワール	胸に花を飾る少女	横須賀美術館 浜松市美術館	「女性を描く」 (各地巡回)	H28 9/3～10/23 (横須賀) 10/29～12/25 (浜松)
マリー・ローランサン	馬に乗る少女たち	株式会社ホワイトインターナショナル		
藤田嗣治 (レオナルド＝ツグハル・フジタ)	ヴァイオリンを持つ子ども	静岡市美術館 福井県立美術館 公益財団法人ひろしま美術館 公益財団法人損保ジャパン日本興亜美術財団 (東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)	「ランス美術館展」 (各地巡回)	H28 9/10～10/30 (静岡) 11/5～12/25 (福井) H29 2/11～3/26 (ひろしま) 4/22～6/25 (東郷) 7/6～8/27 (山口) 10/7～12/3 (名古屋)
	キリストの顔	山口県立美術館 名古屋市美術館 株式会社ブレーントラスト		
宮本武蔵	独行道	都城島津邸	「武士のたしなみ ー「天下布武」から「文武両道」へー」 (会場：都城島津邸伝承館)	H28 10/15～11/27
	五方之太刀道			
海老原喜之助	群馬出動	久留米市美術館	久留米市美術館開館記念展 「2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」	H28 11/19～1/22
牛島憲之	まるいタンク			
大塚耕二	トリリート			
野田英夫	都会の冬			
	バス内			
堅山南風	来迎図	肥後の里山ギャラリー	「熊本が生んだ日本画の巨匠 堅山南風展」	H29 1/4～2/10
	猫			
	横山大観先生像			
	彩桃			
ビエール＝オーギュスト・ルノワール	胸に花を飾る少女	宮城県美術館	「ルノワール展」	H29 1/14～4/16
横山大観	焚火	名古屋市美術館 中日新聞社	「永青文庫 日本画の名品」	H29 1/14～2/26
	雲去来			
	老子			
堅山南風	霜月頃			
大塚耕二	天文学的作品	菊池市教育委員会	熊本県立美術館所蔵品展 「四季 ーくまもとと菊池と美の記憶ー」 (会場：菊池夢美術館)	H29 1/21～2/5
	裸婦			
西村義人	手取の協会			
西孝親	水源			
宇野千里	古城の春			
岡周末	律			
田代順七	雪の阿蘇			
上村龍一	黒犬のいる町			

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
宮崎静夫	聲	菊池市教育委員会	熊本県立美術館所蔵品展 「四季 —くまもとと菊池と美の記憶—」 (会場：菊池夢美術館)	H29 1/21 ~ 2/5
広吉研介	鮭			
大森キミ子	SPACE			
相嶋崇人	凍信			
瀬川富紀男	化			
淵田安子	蒼いパン			
芹川光之	六色の函			
鎌田勝美	阿蘇・根子岳 (冬景)			
東山魁夷	道	肥後の里山ギャラリー	「熊本の現代作家展Ⅱ 熊本の現代陶芸 —井上泰秋・山本幸一・久保田烈 工—」	H29 2/20 ~ 3/25
	冬華			
	年暮る			
	行く秋			
	波濤			
	夕静寂			
井上泰秋	鉢 (二つの線)	久留米市美術館	「川端康成 美と文学の森」	H29 4/1 ~ 5/21
	青小代掛合流大皿			
山本幸一	バラム	株式会社 NHK プロモーション	「熊本復興支援”熊本城展” —加藤清正と細川家、ゆかりの 品々—」 (会場：日本橋高島屋)	H29 4/12 ~ 4/24
久保田烈工	青白磁彫文深鉢			
	青白磁流線文四角扁壺			
	白磁流線扁壺			
マナブ間部	赤道の風			
狩野言信	住吉社頭図			

## ■購入・寄贈図書目録 [平成 28 年度]

<購入図書>※備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本史			
続再夢紀事（全6冊揃）	中根雪江	日本史籍協会	1922年
熊本明治震災日記	水島貫之	活版社	1889年
肥後くまもと大ぢしんくどき			1889年

<友の会から寄贈された図書>

書名	編・著者名	発行所	発行年
日仏「美術全集」史	島本浣 / 著	三元社	2016年
いとも美しき西洋版画の世界	豊田奈緒子 / 編	アートプランニングレイ	2008年
木村千鶴子作品集	木村千鶴子作品集 刊行委員会 / 編	木村徳生、木村勇一、 木村輝久	1999年
人形芸五十年：平田郷陽	平田郷陽 / 著	講談社	1976年
日本美術全集 4：密教寺院から平等院へ	伊東史朗 / 編	小学館	2014年
日本美術全集 6：東アジアのなかの 日本美術	板倉聖哲 / 編	小学館	2015年
日本美術全集 8：中世絵巻と肖像画	加須屋誠 / 編	小学館	2015年
日本美術全集 12：狩野派と遊楽図	狩野博幸 / 編	小学館	2014年
日本美術全集 17：前衛とモダン	北澤憲昭 / 編	小学館	2014年

# ■委員会等名簿

## □熊本県立美術館協議会委員名簿

平成 29 年 3 月 31 日現在

氏 名	役 職 名
内 堀 公 靖	県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長（県立御船高等学校教諭）
河 島 一 夫	熊本県立美術館友の会世話人
小 林 孝 夫	熊本県美術協会副会長
副 島 隆	株式会社 お菓子の香梅代表取締役会長
曾 田 豊 子	画家
田 浦 かおり	熊本県 PTA 連合会副会長
福 島 絵 美	株式会社 熊本放送報道制作局アナウンス部 部長代理
藤 井 宥 貴子	熊本市男女共同参画センターはあもにい館長（有限会社 ミューズプランニング代表取締役）
測 上 陽 一	熊本県議会教育警察常任委員会委員長
◎ 松 井 葵 之	八代市立博物館未来の森ミュージアム館長
丸 野 香 代子	株式会社 談 代表取締役
永 田 誠 一 郎	熊本県図画工作・美術教育研究会長（熊本市立隈庄小学校校長）

（五十音順、◎委員長）

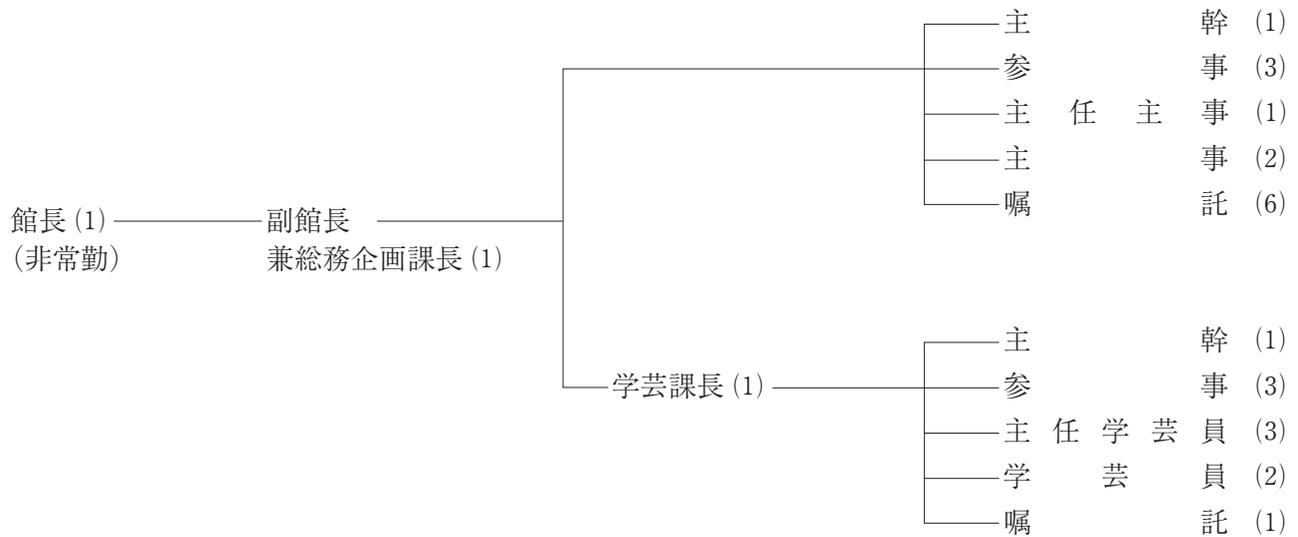
## □熊本県立美術館収集委員会委員名簿

平成 29 年 3 月 31 日現在

氏 名	役 職 名
◎ 石 原 昌 一	彫刻家、熊本大学名誉教授
植 野 かおり	公益財団法人立花家史料館長
桜 井 武	熊本市現代美術館長
林 千 寿	八代市立博物館学芸課参事
中 西 真美子	崇城大学図書館職員
西 村 勇 晴	北九州市立美術館長
松 本 誠 一	佐賀県立美術館副館長
森 山 秀 子	久留米市美術館副長

（五十音順、◎委員長）

□熊本県立美術館の機構及び職員数（平成 29 年 3 月 31 日現在）



□美術館職員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

氏名	職名	氏名	職名
田崎 龍一	館長（非常勤）	石丸美穂子	参事
前田 哲明	副館長兼総務企画課長	林田 龍太	主任学芸員
川口 建明	主幹	金子 岳史	主任学芸員
富永 文昭	参事	才藤あずさ	主任学芸員
唐木 淳至	参事	宮川 聖子	学芸員
中村 幸宏	参事	岡田真梨子	学芸員
福島由佳里	主任主事	弓削 孝子	嘱託
林田百合恵	主事	田川美由紀	嘱託
杉本 美紀	主事	深川恵美子	嘱託
村上 哲	学芸課長	坂本 眞紀	嘱託
有木 芳隆	主幹	上島 久美	嘱託
井上 正敏	参事	川元 幸	嘱託
山田 貴司	参事	高森 莊子	嘱託

## ■その他

### □熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。平成27年は、設立40周年となり、設立40周年記念事業や祝賀会などを開催した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを寄贈し調査研究等に貢献してきている。会員は、「会員証」で、現在は県立美術館をはじめとする県内7館において開催される展覧会を各1回鑑賞することができる。

また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

### 特典

- ① 次の美術館に無料入場できる。(但し、1展覧会1回。展示替の場合はもう1回入場できる。) 熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館、島田美術館、芦北町立星野富弘美術館
- ② 熊本県立美術館の展覧会図録の開催期間内購入 2割引。
- ③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室 割引有。
- ④ 友の会企画の国内・海外旅行に参加できる。

**会員数** (平成29年2月現在) 469名(会員証発行:569枚)

A会員	60組	会費	10,000円	(会員証2枚 本人1枚、家族用1枚)
B会員	381名		5,000円	(会員証1枚 本人)
C会員	10社		30,000円以上	(会員証5枚 会社名義)
D会員	18名		3,000円	(学生会員)

### 活動状況

- ・機関誌「View」4回発行(美術館との共同編集)
- ・図書購入・寄贈  
『日本美術全集(1、11巻)』、『西洋近代の都市と芸術』、『図像学Ⅱ』、『越前松平家家譜 慶永1~5』。計5冊
- ・国内美術館巡りの旅 「信州・長野・軽井沢美術館巡り3日間の旅」・期間:9月23日~25日(2泊3日)  
碌山美術館、日本浮世絵博物館、セゾン現代美術館、無言館・信濃デッサン館、池田満寿夫美術館、東山魁夷館など。
- ・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ(A4両面カラー)の作成配布

### 平成28年度役員

代表世話人	福田 稠
副代表世話人	松木良介、河島一夫
監 事	池田耕一、河野景治
世 話 人	田崎龍一、坂田燦、河島美智奈、二子石義之、浜砂ルイ子、高田浩子、村上了一、小坂肇、林田勉、木下修、大森健弘、森本清子、平井勝典、井上正敏、岡田直幸
名誉世話人	樋口欣一、芹川光行

## □美術館案内

### 熊本県立美術館本館 Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地：熊本市中央区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「交通センター」で下車、城彩苑内を通過して徒歩15分。または「交通センター」で熊本城周遊バス（しろめぐりん）に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。

市電／「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR／「熊本駅」から熊本城周遊バス（しろめぐりん）に乗車、「熊本城二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。「上熊本駅」からタクシーで10分。

熊本空港／空港バスで「交通センター」へ。「交通センター」から徒歩15分

または交通センターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場／二の丸駐車場（有料）、三の丸第2駐車場（有料）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

### 熊本県立美術館分館 Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地：熊本市中央区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間：火曜～金曜／午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

土日祝日・休日／午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「市役所前」下車、徒歩5分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館横」下車

市電／「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

## インターネットアドレス

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



※「熊本地震」の影響により、一部、通行規制が行われています。